

アコンカゲア
の高さ二万二
千餘尺あり

まで、延長殆んど二千里に達し、地球上最長の大山脈なり、
多の火山其の中に聳立す、南部には、新世界第一の高峰ア
ンカゲア火山あり、北部には、1. Aconcagua ヨトバキシ、2. Cotopaxi チンボラゾ等あり、
中央大平原は、オリノコ河口よりラプラタ河口に連り、此大
陸全面積の大部を占む。

海岸出入に乏しく、港灣多からず、大陸南端の岬をホルン、
北の地峽をバナマと云ふ、南にはマジェラン海峡あり、島の
大なるもの、アマゾン河口にマラジョー、4. Magellan 南端に火地、其沖に
フオー克蘭ランドあり。
5. Marajo 6. Tierra del Fuego

水系。南アメリカに主要なる河三あり、左の如し。

アマゾン河は、源をペルー國のアンデス山脈中に發し、東
流して大西洋に入る、河口開きて一大三角江をなし、數多の

- | | | | | |
|--|--|---|--|--|
| <small>9. Peru</small>
Pérou | <small>7. Falkland</small>
Falkland | <small>5. Marajo</small>
Marajo | <small>3. Chimborazo</small>
Chimborazo | <small>1. Aconcagua</small>
Aconcagua |
| <small>8. Amazonen</small>
Amazonen | <small>6. Feuerland</small>
Tcrrre de Feu | <small>4. Magalhaes</small>
Magellan | <small>2. Cotopaxi</small>
Cotopaxi | |

島嶼其中にあり、赤道は正に其河口を通過し、本河の位置、熱
帯の多雨區域に當るを以て、水量最も多く、世界第一の大河
とす、灌域四十二萬方里、本邦の十六倍、長さは千六百餘里、河
口の幅二十里あり、舟楫を通ずること本支流を通じて二萬
里、其半は漁船の航通に適す。

オリノコ河は、源をヴェネジエラの南東に發し、遂に東
流して、大三角洲をなし、海に入る、下流は大船を通ずべし。
ラプラタ河は、巴拉ナ及びウルガイの兩河にて生成せる
一大三角江に外ならず、此江の海に開ける所は、幅二十五里
あり、此河の水利も至大なり。

湖水の著名なるものは、ペルー及びボリヴィアの境に、チ
チカカ湖あり、海面を抜くこと、一萬二千餘尺に位す。

5. Titicaca
(チチカカ) 南アメリカ 地圖 (百六十五)

- | | | |
|--|--|---|
| <small>5. Titicaca</small>
Titicaca | <small>3. La Plata</small>
la Platu | <small>1. Orinoco</small>
Orénoque |
| | <small>4. Parana</small>
Parana | <small>2. Venezuela</small>
Vénézucla. |

アフリカ及び南アメリカの比較。兩大陸共に赤道に沿ひて、其地位を占め、反對類似の點數多あり。

アフリカ。

南アメリカ。

一、海岸出入少し。

一、海岸出入稍多し。

二、大なる湖沼甚だ多し。

二、湖沼少く、皆小なり。

三、舟航すべからざる河流、

三、河流は、舟航するを得べ

閉塞せる流域を有す。

く、其流域は概ね相連續

せり。

四、コンゴ、ナイル及びザ

四、數多の河流合して一の

ンベン河は、各相離れて

アマゾンとなり、多量の

其水を大洋に送る。

水を大洋に送る。

五、コンゴ河は、赤道に沿

五、アマゾン河は、赤道に沿

ひて流る。

ひて流る。

六、赤道の南北兩側に廣大

六、赤道の南北兩側に廣大

なる森林を有す。

なる森林を有す。

氣候。南アメリカの大部は、熱帶中に位し、又北東、南東兩

貿易風を受くるを以て、酷熱にして濕潤なり、但しアンデス

山系に屬する高地は氣候溫和なり、又南緯三十度以南は、土

地狹小にして、海洋の影響を受け、氣候頗る涼し、アンデス山

系の西側は、非常に乾燥にして、往々無雨の地少からず、而し

て東岸より低溫なり。

物産。植物界の天産物は其種類頗る多し、造船に適する

樹木、幾那を得べきシンユナ樹、甘蔗、珈琲其他熱帶及び溫帶

の植物頗る多し、動物界の天産にありては、アジア、アフリカ

に於ける犀及び象を缺ぐと雖も、**亞獅**の如き猛獸あり、又巨蛇、鱈魚頗る多し、森林には獼猴の類多く、山中に「**コンドル**」鳥あり、礦産は頗る富饒にして、特に**ポリウエア**の**ポトシ**銀山の如きは最も名あり。

1. Potosi

1. Potosi
Potosi

住民。人口は總計三千萬許、此中過半は土人にして、ヨーロッパ人種は三分の一を占むるに過ぎず、而してスペイン人を多しとす、**ブラジル**國には、**ポルチユガル**人多し。

區劃。南アメリカは、夥多の邦土ありて、何れも共和國なり、但し**ギアナ**は、イギリス、オランダ、フランス三國の殖民地となれり、又此大陸の南東にある**フォークランド**島、及び南**ジョージア**島は、イギリスの領地なり。

2. Georgia

第三節。南アメリカ邦土誌。

2. Georgien
Georgie

パナマ運河開
闢は奇蹟企て
られたり



俗風のアピノロコ

コロンビア。南アメリカの最北に位する聯邦共和國なり、此國は地方により高度一様ならざるを以て、隨て氣候又種々なり、故に産物の種類に富む、**パナマ**鐵道は、太平洋岸**コロロン**より起り、太平洋岸**パナマ**に達す、**ボゴタ**は國の首府にして、海面上殆んど一萬尺の高所にあり。

1. Colombia
Colombie

2. Colon
Colon

3. Bogota
Bogota

(アメリカ) 南アメリカ 邦土誌

イギリス領ギ
アナの境界
未だ決せず

ヴェネズエラ。此國も亦聯邦共和國にして、國の全部オリノコ河の流域に在り、其大半は「ラノス」と稱する一大草原より成る、主なる産物を珈琲及び砂糖となす、首府をカラカスと云ふ。

3. Caracas

エクアドル。

4. Ecuador

太平洋に臨み、赤道直下に在り、チンボラ

5. Chimborazo

ゾ、コトパキシ等の高峯此國にあり、主要の産業を農業とす、

6. Cotopaxi

キートーは國の首府にして、大學あり、海面を抜くこと殆んど一萬尺の高地にあるを以て、其地赤道直下に位すと雖ども、氣候溫和なり。

7. Quito

ペルー。アンデス山系と、其東斜面及びアマゾン河上流

8. Peru

灌域の大部とより成れり、此國に於て最も價值ある物産を

硝石、鳥糞及び羊毛とす、首府をリマと云ふ、本邦條約國の一

9. Lima

1. Venezuela
Venezuela

3. Caracas
Caracas

5. Chimborazo
Chimborazo

6. Cotopaxi
Cotopaxi

7. Quito
Quito

9. Lima
Lima

銅の産額頗る
多く本邦と匹
敵す

本邦條約國と
なるの日も近
きにあらず

なり。

ボリヴァイア。アンデス山間の高地及其東方斜面より

1. Bolivia

成る、人民の一半は土人なり、チチカカの高原は、此國に在り、

2. Titicaca

農業、鑛業は、主要の産業にして、銀は全輸出額の三分の二を

占め、ポトシは、主なる産地なり、首府をシュエクルと云ふ。

3. Potosi

4. Sucre

チリ。緯度三十八度以上に跨れる狭長なる國にして

5. Chile

南氷洋よりの寒流を受け、他の諸國に比して、氣候寒冷なり、

農業鑛業は主要なる産業にて、硝石は重なる輸出品なり、國

人は、南アメリカ諸國中最も企業心に富み、鐵道、電線も次第

に發達せり、首府をサンチアゴと云ふ、其港をヴァルパライ

6. Santiago

7. Valparaiso

ソと云ふ。

アルジエンチーン共和國。アンデス山系の東斜面に

8. Argentine

(アンカ) 南アメリカ 邦土誌

(百七十一)

1. Bolivia
Bolivia

3. Potosi
Potosi

5. Chile
Chili

7. Valparaiso
Valparaiso

2. Titicaca
Titicaca

4. Sucre
Sucre

6. Santiago
Santiago

8. Argentine
Argentine



ブラジルの風景

(百七十四)

ブラジル共和国。其面積五十餘萬方里、高地も少からざれども、アマゾン河流域の平原(セルヴァス)亦廣大なり、人口千四百萬あり、人民多くは黑人種にして重に海岸又は大河の畔に住居す、亦アメリカ印度人、ポルチユガル人種も少からず。

此國の植物は其氣候の如く實に多種なり、染料、造

- 1. Brasilien
Brésil
- 2. Selvas
Selvas

船等に必要なる各種の樹木頗る多し、又珈琲は、世界總産出高の一半を占む、鑛物又頗る多く、金剛石其他の寶石、金、水銀及び銅の産出夥し。

外國貿易は、漸次盛大に赴き、珈琲は、輸出全額の七割を占む、鐵道の延長八千哩に及ぶ、本邦條約國の一なり。

首府をリオ、ジャネーロと云ふ、人口五十餘萬、同名の灣に臨む、良好なる碇泊地にして、ブラジル國貿易の中心なり、本邦公使館の設けあり、バヒア及びベルナンブーの兩港東岸に位し、貿易繁盛なり。

ギアナは、イギリス、フランス、オランダの三國これを分割所有し、林産に富み、又河流には魚類群集す。

フォークランド。マジエラン海峡の東方沖合にあり、

5. Falkland
(フォークランド) 南アメリカ 邦土誌

(百七十五)

- 1. Rio Janeiro
Rio Janeiro
- 2. Bahia
Bahia
- 3. Pernambuco
Pernambouc
- 4. Guayana
Guyane
- 5. Falkland
Falkland

イギリス領の島なり、近海は水産に富む。

第四節。北アメリカ總論。

總説。北アメリカとは、新世界の北部を稱し、パナマの地峽によりて、南アメリカに連続せり、今南北アメリカの地形上、相類似する點を擧ぐれば左の如し。

北アメリカ。

南アメリカ。

一、不規則なる三角形を爲せり。

一、~~不規則~~三角形を爲せり。

二、其西岸に高山脈あり火山脈貫

二、全上。

通す。

三、東岸に平行して低山脈あり。

三、全上。

四、北氷洋よりメキシコ灣まで、大

四、カリビアン海よりラプラタ河ま

陸の中部は大平原なり。

で、大陸の中部は大なる平原なり。

五、二大河は互に直角をなし、セ

五、二大河は互に直角をなす、アマ

ンローレンス河は西より東に

ン河は西より東に流れ、ラプラタ

3. St. Lorenz
St. Laurent

1. Mexico
Mexique

2. Karibische
Caraïbes

アメリカの二分

流れ、ミシシッポ河は北より南に流る。
1. Mississippi

河は北より南に流る。

北アメリカの面積は、凡そ百五十萬方里にして、此大陸の最も長き所一千八百里なり。

北アメリカは、地勢上又邦制上、グリーンランド、イギリス領北アメリカ、合衆國、メキシコ、中央アメリカ、西印度諸島の六部分に分つ。

地勢。西側は、高峻なる山嶺連亘せる高地にして、東側には、海岸と並走せる低き山脈あり、此兩山脈の間には大平原ありて、北氷洋よりメキシコ灣に及ぶ、西方の大山脈は、南北兩アメリカを縦貫する、ユーデレラ山系の一部にして、ロッキーマン山系は、これを組成する諸山脈中の最も主要なるもの

(アメリカ) 北アメリカ 地誌

(百七十七)

1. Mississippi
Mississippi

2. Cordilleren
Cordillères

3. Felsen
Rocheuses

なり、東側の低き山脈を、アレガニー山脈とす。

海岸。北アメリカの海岸は東側に長し、東岸にはハツフ

イン湾、^{2. Hudson}ハドソン湾、セントローレンス湾、メキシコ湾等あり、

西側には、カリフォルニア湾を除くの外著しき大湾なし、東

側には、^{3. California}ラブラドル、^{4. Labrador}フロリダ及びユカタン等の半島多く、西

側には、^{5. Florida}アラスカ及び下部カリフォルニアの二半島あるの

み、又、^{7. Alaska}ニューファンドランドのレイス岬、合衆國のハツテラ

ス岬等の主要なる岬は、皆東側にあり、要するに、東側は港灣、

半島岬に富み、海岸線隨て長く、其全長は一萬里にして、比較

して云ふときは、ヨーロッパの半に當る。

北アメリカの陸地は北方に擴がり、分裂せる數多の島嶼に終る、此邊一面を北アメリカの多島海と稱す、而して東北

- 1. Alleghany
- 2. Hudson

- 3. Californien
- 4. Labrador

- 5. Florida
- 6. Yucatan

- 7. Alaska
- 8. Neu Fundland

- 9. Race
- 10. Hatteras

- 11. Alëuten
- 12. Tehuantepec

- 13. Mississippi
- 14. Mackenzie

- 15. St. Lorenz
- 16. Saskatschewan

にグリーンランドの大島あり、西北に火山に富めるアリユ
ーシアン群島ありて、アジアに渡るの連鎖をなす。
又北アメリカの地は南方に縮小して、^{11. Aleutian}テハンテベック地
峽より、遂には南アメリカなる^{12. Tehuantepec}パナマの地峽に終る。
北アメリカの地形は、南方に縮小せりと雖ども、島嶼の多
きことは、亦稍、北方に於ける關係と相似たり、斯の如く南北
兩側に島嶼多きに比して、東西兩岸には頗る少し。
水系。北アメリカの四大河は、^{13. Mississippi}ミシシッピ、^{14. Mackenzie}マツケンジ
ー、^{15. St. Lawrence}セントローレンス及び^{16. Saskatchewan}サスカチワンにして、共に中央
の平原にあり、太平洋に注ぐものに、^{17. Yukon}ユーコン及び^{18. Columbia}コロムビ
アの二河あり。

湖沼。北アメリカには、世界の最大湖水數多あり、最も肝

一に湖沼大陸と稱す

要なる湖は、シユーペリオルを始めとし、多くは合衆國及びカナダの間に横はる、其面積を合すれば、我本洲の面積に匹敵す。

氣候。北アメリカは、北緯八十度より全十度に横はり、寒帯より熱帯に至るまで、各種の氣候を有せり、中過半は大陸的の氣候を有し、又西岸は東岸より暖かに且雨量多し、これ山脈及び海流の影響なり。

産業。合衆國農産の巨額なること、他大陸これに及ぶものなし、又林産は中部に夥多にして、ユーラシア大陸の森林地方にも稀に見る所なり、水産はベーリング海峽の近海、及びニューフオンドランドの沖合に最も多し、礦産に至ては、何れの大陸も北アメリカに及ぶものなし、合衆國の石炭鐵

世界三大漁場
の二つはこれ
なり

19. Oberer
Superieur

17. Yukon
Yukon

18. Columbia
Columbia

銀銅は其産額世界に類少し。

住民。人口凡そ九千萬あり、其内凡そ七千萬は白人種、其他はアメリカ印度人種、黒人種及び雜種なりとす。

宗教は、基督新教最も多し、教育は甚だ盛にして、特に應用を主眼とす。

交通。北アメリカは、其北部を除くの外、交通概ね至便なり、ミシシッピ一本支流、セントローレンス河及び五大湖の水利頗る盛なり、又鐵道は、其線路益延長し、現今太平洋に起りて、太平洋に達せるもの四線あり、電線は主要なる都府を連結し、又大西洋を横断して、ヨーロッパに通ぜり。

沿革。北アメリカは、西曆紀元千四百九十二年、コロンブスの發見する所に係る、スペイン人は始めて此國を征服せ

Columbus
Colomb

近時太平洋海
底電線敷設の
企あり

んと企て、其後大部はイギリス國の管轄に歸せしが、千七百年代の後半に、其一部獨立を布告し、合衆國と稱せる聯邦を組織せり、メキシコも亦スペインの羈絆を脱して獨立したり、蓋し北アメリカにて、イギリス語及びスペイン語を用ふる人民多きは、蓋し開國の歴史これをして然らしむるなり。

第五節。北アメリカ邦土誌。

一、西印度諸島。

總論

位置。合衆國フロリダの南端セイブル岬より南アメリカ、オリノコ河の三角洲に至るまで、^{1. Sable}南北アメリカ間に横はれる島嶼の總稱なり、大別して三とす、大アンチルス、^{2. Antilles}小アンチルス及びバハマ諸島これなり。

地理。群島皆山多く、小アンチルス諸島は火山に富む、全島を通じて著しき河湖なし、バハマ諸島の大部は温帯に横はり、其他は凡て熱帯中に横はる、概するに海軟風及び貿易風の影響を受けて、暑熱甚しからず。

人文地理。人口は凡そ三百萬許にして、黒人大部を占め、スペイン人これに次ぎ、スペイン語専ら行はる、物産に富み、砂糖及び煙草最も名あり、交通も次第に發達し、キューバ島には凡そ一千哩の鐵道あり、合衆國、イギリス、オランダ、デンマルクの諸國、此群島を分割して所有し、僅かにハイチ島のみ、二つの獨立共和國に分る。

地方誌。

(アメリカ) 北アメリカ 邦土誌

(百八十三)

Bahama
Bahama

1. Sable
Sable
2. Antillen
Antilles

甘蔗の産
界に於ては
第一なり

一、合衆國領。

キューバ。此島は面積我北海道より遙かに大なり、山脈地勢に従て走る桃心木及び黒檀の産出多く、砂糖の輸出額亦非常なり、もとスペイン領なりしが内亂の結果遂に事實上合衆國の領地に歸す、首府をハヴァナ(一にハヴァナ)と云ふ。

ポルトリコ。キューバの東に位し氣候最も順良なり。

二、イギリス領。バハマ諸島、ジャマイカ及び小アンチルス諸島の大部より成る。

バハマ諸島。フロリダ半島の東南に横はれる二十餘の珊瑚群島の總稱なり、新世界第一に知られたる地なり。

イギリス領小アンチルス諸島の中、最も名あるものをトリニダット及びバルバドースの二島とす、バルバドース島は、イギリス國海軍根據地の一たるを以て、又トリニダット島は地瀝青の湖あるを以て其名共に頗る高し。

三、ハイチ。此島は二個の共和國に分る、東にあるをサンドミンゴの共和國とし、西にあるをハイチ共和國とす、地味豊饒なれども富源未だ十分に開

1. Cuba
Cuba

2. Havana
Havana

3. Puerto Rico
Porto Rico

4. Jamaica
Jamaïque

5. Bahama
Bahama

6. Trinidad
la Trinité

7. Barbados
Barbade

8. Haïti
Haïti

9. Domingo
St. Domingue

發せられず。

二、中央アメリカ。

1. Central America
總論。

位置及び面積。メキシコと南アメリカのバナマとの間に横たはれる地峽部なり、面積我國より少しく大なり。

地文地理。北部は富饒なる高原にして、徐々に海に向て

傾斜す、又太平洋沿岸の火山脈は、此地方を貫通し、南アメリカに連る、地震も亦少からず、地勢狹長なるを以て著しき河

湖なし、唯ニカラガ湖及びこれより流出するサンジュアン

河稍、名あり、氣候は略メキシコに同じ。

人文地理。人口凡そ三百三十萬、其大半はアメリカ印度人種なり、スペイン人の子孫は少數なれども、勢力を占む、基

1. Mittel-Amerika
Amérique Centrale

2. Nicaragua
Nicaragua

3. San Juan
San Juan

督舊教最も行はる、教育は未だ進歩せず、地味肥沃にして、珈琲椰子砂糖藍煙草等を主なる物産とす、其他桃心木の産出少からず、工業及び貿易未だ盛大ならず、鐵道、電線次第に延長を來たし、交通漸次發達の兆あり。

地方誌

中央アメリカに屬する各邦土を左に列擧す。

- 一、グアテマラ共和國。中央アメリカの北西部を占む。
- 二、サルヴァドル共和國。グアテマラの東南にあり。
- 三、サンサルヴァドルと稱す。
- 三、イギリス領ホンデウラス。
- 四、グアテマラの東南にあり。
- 四、ホンデウラス共和國。グアテマラの東南にあり。
- 五、ニカラガ共和國。ホンデウラスの南にありて、此國のニカラガ湖及びサンマニアン河を通じて、ニカラガ運河を開鑿し、以て太平、太西兩洋の通路を短縮するの計畫あり。

- 1. Guatemala
Guatemala
- 2. Salvador
Salvador

- 3. San Salvador
San Salvador
- 4. Honduras
Honduras

- 5. Nicaragua
Nicaragua

六、コスタリカ共和國。中央アメリカの最南部を占む。

1. Costa Rica

二、メキシコ。

2. Mexico

東はメキシコ灣に濱し、西は太平洋に面し、北は合衆國に接し、南は中央アメリカに界す、面積凡そ十三萬方里、殆んど我國の五倍あり。

地勢。メキシコの地勢は、一大高原より成ると云ふも可なり、其兩側に高山脈相連り、唯沿岸一帯に低地あるのみ、高原の南端は、高峻なる火山頗る多く、ポポカテペトル、オリザバの二峯最も名あり、メキシコ灣沿岸には、著名なる港少なし、太平洋沿岸には下カリフォルニア半島南方に突出して、同名の灣を擁す。

水系。地勢の結果として大河なし、但し合衆國との境を

- 1. Costa Rica
Costa-Rica
- 2. Mexico
Méxique

- 3. Popocatepetl
Popocatepétl
- 4. Orizaba
Orizaba

高さ各凡そ一
万八千尺あり

なせる、グランド河は稍大にして、下流は舟楫を通ず。

氣候。氣候三様あり、一、溫和乾燥なる高原の氣候、此國の大部はこれに屬す、二、高熱濕潤なる低地の氣候、三、寒冷なる山地の氣候これなり。

住民。人口一千三百萬、アメリカ印度人種及び雜種各四割、ヨーロッパ人種は二割を占め、多くは基督舊教を奉じ、教育は未だ普及せず。

政治。聯邦民主政治にして、陸海軍共に微弱なり、近時海軍を擴張するの計畫あり、本邦條約國の一なり。

産業。林産に富み、桃心木マホガニーを始め、其他の木材多く産し、農業は未だ發達せず、此國は鑛物裕かにして、殊に銀の産額頗る多く、メキシコ銀の名世に高し、工業は未だ盛大ならず。

Grande del Norte
Grande del Norte

人口の密度は
本邦の二十分の一

都邑。首府メキシコは、海面を抜くこと七千五百尺の高

1. Mexico

處にあり、故に熱帯に位すと雖ども、氣候頗る溫和なり、本邦

公使館あり、ヴェラクルーズは、此國第一の要港にして、メキ

2. Vera Cruz

シコ灣に濱し、首府の東にあり、氣候不良なり、アカプルコは、

3. Acapulco

此國西岸の良港なり。

四、合衆國。

4. United States

總論。

位置及び面積。合衆國は北アメリカの中部を占むる一大國にして、東は大西洋に接し、西は太平洋に臨み、北はカナダに接し、南はメキシコに接す、面積は五十六萬餘方里、ヨーロッパ又は支那より少しく小に、我國の二十倍に餘れり。

地勢。西方には、エルゲレラ山系に屬する、數多の山脈南

3. Acapulco
Acapulco

1. Mexico
Mexico

4. Vereinigte Staaten
Etats-Unis

2. Vera-Cruz
Vera-Cruz

United States

(アメリカ)

北アメリカ 邦土誌

(百八十九)

北に走り、其間一の高原をなし、東方にはアレガニー山脈南に走る、此山脈と西方高原との間は、^{1. Alleghany} ミシシッピ河灌域に属する一大平原なり、これによりて、左の四大區域に分る。

一、大西洋地方。工業の盛なる地方なり。

二、中部地方。ミシシッピ河灌域の中央平原にして、地味豊饒、農業盛大なり。

三、西方高原。東はロッキーマウンテン、西はカスケード及びシエラネバダ諸山脈の間に横はり、高度平均五千尺、乾燥にして土地豊ならずと雖も、^{2. Cascade} 金銀の鑛

山に富めり。

四、太平洋地方。氣候極めて温和なり。

水系。内地灌域は、西方高原の大鹹湖附近にこれあるのみ、北境には五大湖ありて、其水はセントローレンス河に入る、^{3. Sierra Nevada} ミシガン湖は、全く合衆國の域内にあり、シユーベリオル

三分中十二人水中に沈まず

は世界第一の淡水湖なり。

大西洋地方の河は、皆小なれども、河口深くして良港をなすもの多し、太平洋地方には、



谷峽大ドラロコ國衆合

コロンビア、コロラドの二河あり、コロラド河は、峽谷を以て名高し。^{3. Canõn} 中部大平原の水は、皆ミシ

シシッピ河に入る、此河は源をイタスカ湖に發し、南流して

4. Mississippi (アメリカ)

5. Itaska (カナダ)

(百九十一)

5. Itaska Itasca

3. Canõn Canõn
4. Mississippi Mississippi

1. Columbia Colombie
2. Colorado Colorado

2. Cascaden Cascades
3. Sierra Nevada Sierra Nevada

1. Alleghany Alleghany

世界第一の長

銅の産額は全
世界の半以上
なり

本邦貿易の輸
出先は此國を
第一とす

世界鐵道の半
ばを有す

産業。農業を以て第一とす、就中棉花及び穀類の産額は、世界の市場を動かすに足る、牧畜業も亦頗る盛大なり、漁業林業も亦漸次進歩の勢あり、又非常に鑛産に富み、太西洋岸及び中央諸州に廣大なる炭田あり、又鐵鑛の産地頗る多し、金銀銅も亦多額に産し、就中カリフォルニア州の金を第一とす、工業も亦年々盛大を極む。

合衆國の内地貿易は頗る巨額なり、外國貿易も日進の姿ありて、輸出入の總額四十億圓に垂んとし、主なる輸出品を棉花、麥粉、肉類、石油、鐵類とす、主なる取引先はイギリスにして、ドイツこれに次ぐ、本邦との貿易又最も盛なり。

交通。鐵道の延長十八萬哩に達す、就中鐵道の太平洋岸に起りて太西洋岸に通ずる線路三あり、中央太平洋鐵道、北

商船の噸數二
百五十萬噸に
イッ匹敵す

合衆國の貿易
は半ば此府に
於て行はる

太平洋鐵道、大北鐵道、及び南太平洋鐵道これなり、中央大平原に於てミシシッピ河、及び北境に於て五大湖地方、水利の大なるは前に述べたり、又太西洋沿岸には河口に良港少からずして、ヨーロッパとの航通非常に盛大なり。

地方誌

合衆國は行政上四十五州、一區、五部落より成る、此五十一地方を七ツに大別す、太西洋北部、太西洋南部、中部南區、中部北區及び西部の諸州、インヂアン、及びアラスカの二部落これなり。

一、太西洋北部諸州。太西洋沿岸の北部に屬する九州を包括す、此諸州は工業盛大にして、大都府少からず。

大ニニューヨーク。ハドソン河口にありて、人口三百十萬、南北アメリカ第一の大都會にして、又世界第二の都會なり、もとニューヨークの外にブルックリンを始めとし、これに接続せる大都會數多ありしが、明治三十一年一月より合併して、大ニニューヨーク府となれり、本港は世界航路の要點に位し、船

(アメリカ) 北アメリカ 邦土誌

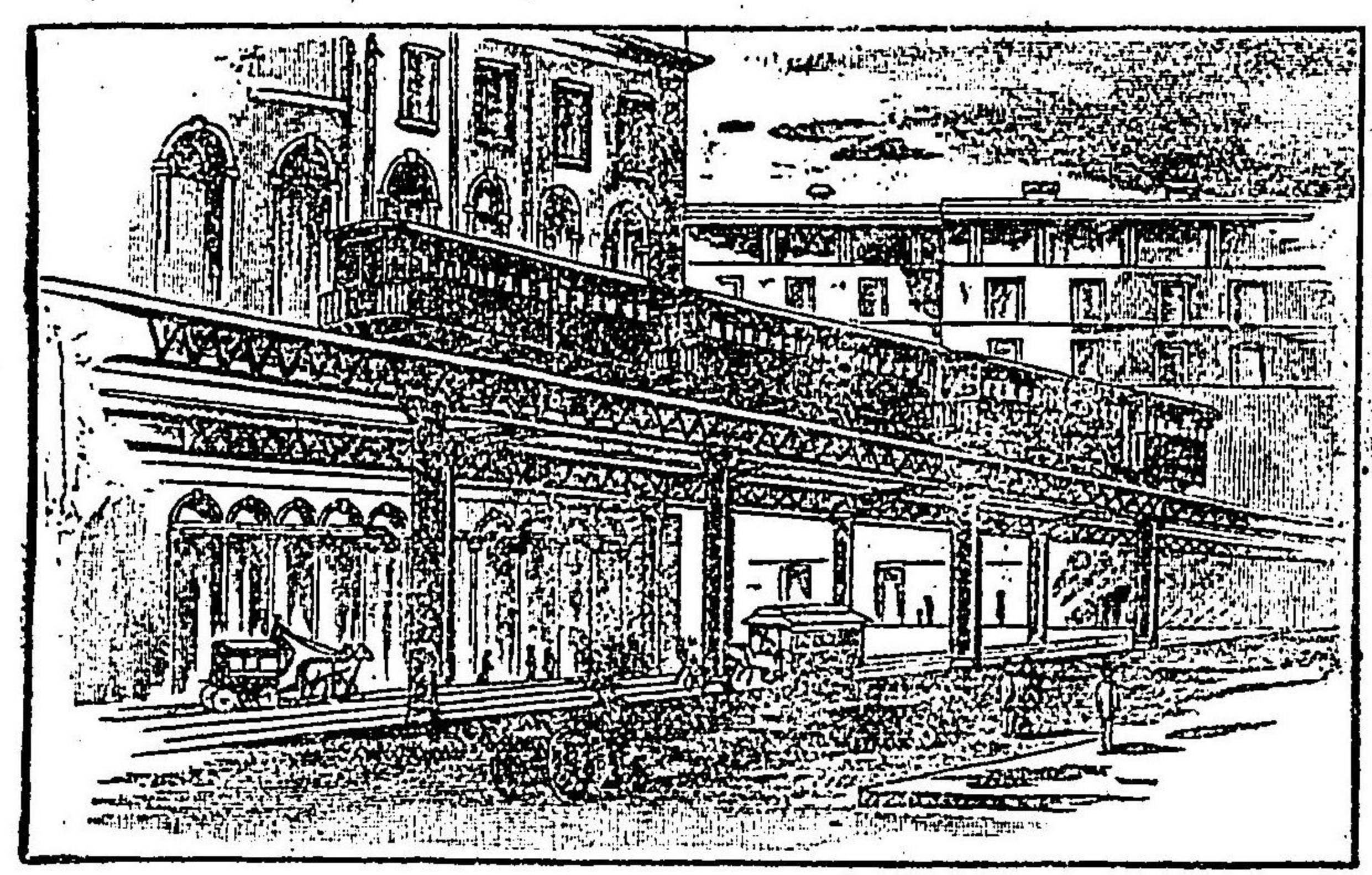
(百九十五)

3. Brooklyn
Brooklyn

1. Grosse-New-York
Grand-New-York

2. Hudson
Hudson

獨立布告の地



大ニヨロイク高架鐵道

船の出入非常に頻繁にして、又宏大なる造船所あり、本邦領事館あり。

ファイラデルフィア、ニューヨークの南西、デラウェア河口に位す、人口百萬を超え、合衆國第三の大都會なり。
 3. Boston ニューヨークの北東にあり、人口五十萬、フランクリン、其の他諸大家の輩出せし所なり、郊外にハーヴァード大學あり、
 5. Harvard
 4. Franklin
 6. Springfield
 7. Mount Holyoke 女子大學あり。
 8. Pittsburg ニューヨーク

- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| 7. Mount Holyoke
Mount Holyoke | 5. Harvard
Harvard | 3. Boston
Boston | 1. Philadelphia
Philadelphie |
| 8. Pittsburg
Pittsburg | 6. Springfield
Springfield | 4. Franklin
Franklin | 2. Delaware
Delaware |

の西にあり、近傍鐵石石油石炭の産出に富み、工業盛大なり。

二、大西洋南部諸洲。大西洋沿岸の南部八州及び一區を包括し、主要なる都府をワシントン及びバルチモアの二府とす。

ワシントン、コロンビア區にありて、ニューヨークの南に當り、合衆國の首府にして人口二十三萬あり、本邦公使館あり、バルチモアはワシントンの北東にあり、人口四十三萬有名なるジョンズホプキンス大學あり。
 3. Baltimore
 4. Johns Hopkins
 三、中部北區。ミシシッピ河灌域の北部を占め、十二州を包括す、農工業盛大にして、繁盛なる都府多し。

シカゴは合衆國第二の大都會にして、人口百萬を超え、ミシガン湖の南西岸を占む、本邦領事館あり、セントルイスは、ミシシッピ河の西岸に位し、ミソリー河の注入する會合點に密接す、人口殆んど五十萬、合衆國の略中央點に位す。

四、中部南區。ミシシッピ河灌域南部の七州、一部落を包括す、其都會をニューオーリアンズとなす、ニューオーリアンズは、ミシシッピ河口に近く、兩岸に跨り、合衆國第二の貿易港にして、綿花取引の盛なること、リッリア

(アメリカ) 北アメリカ 邦土誌

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 7. New-Orleans
Nouvelle-Orléans | 5. Chicago
Chicago | 3. Baltimore
Baltimore | 1. Washington
Washington |
| | 6. St. Louis
St. Louis | 4. Johns Hopkins
Johns Hopkins | 2. Columbia
Colomia |

東洋汽船會社の航路に當る

シヤイトルは日本郵船會社の航路に當る

セントエリアの峯の高さ一萬八千餘尺ユコン河の上流カナダの區域にクローンダイクの金礦あり

ールを除き世界これに匹敵する所なし。

五、西部諸州。合衆國西部の九州及び二部落を包括す、西部高原及び太平洋斜面は皆此部に入る、主要なる都府をサンフランシスコとす。

サンフランシスコ

世界に於ては、太平洋岸第一の港にて、世界交通の要點に當り、貿易繁盛なり、本邦人の此附近に在留するもの五千人を超え、本邦領事館あり。

1. San Francisco

2. Tacoma

3. Puget

六、インヂアン部落。合衆國の中央にある一地方にて、アメリカ印度人種の住所なり、近時次第に開明に進めども、其人口減少す。

4. Seattle

5. Indianer

七、アラスカ。部落は北アメリカの北西隅に位し、面積凡そ九萬方里の地を占むる一大半島と、アリユーンシアン群島とより成る、セントエリア峯は、國の南東隅にありて、北アメリカ第一の高山なり、ユコン河は、此地方の大

6. Alaska

7. St. Elias

8. Yukon

9. Aleutian

五、イギリス領北アメリカ。

附グリーンランド

總論

北は北氷洋に接し、東は大西洋に瀕し、南は合衆國に境し、

西は太平洋及び合衆國のアラスカに接す、面積五十七萬方

里、殆んどヨーロッパ全土に等し、行政上カナダ及びニュー

フオンドランドの二部に分つ。

2. Newfoundland

地勢。西方に、ユーデレラ山系に屬する數多の山脈南に

に走り、ロッキーマウンテン、カスケードの兩山脈、其主たるものにて、兩

山脈の間は、一帯の高地を成す、東方ラブラドル半島にも分

水界西北に走りて、オンタリオイリー、ヒュエーロン、シユール

3. Winnipeg

4. Athabaska

5. Great Slave

6. Great

(百九十九)

5. Grosse Sklaven Gd. L. de l'Esclave

6. Grosse Bären Grand Ours

3. Winipeg Ouinipeg

4. Athabaska Athabasca

1. Kanada Canada

2. Neu Fundland Terre Neuve

9. Aläuten Aläoutienne

7. St. Elias St. Elie

8. Jukon Youkon

5. Indianer Indien

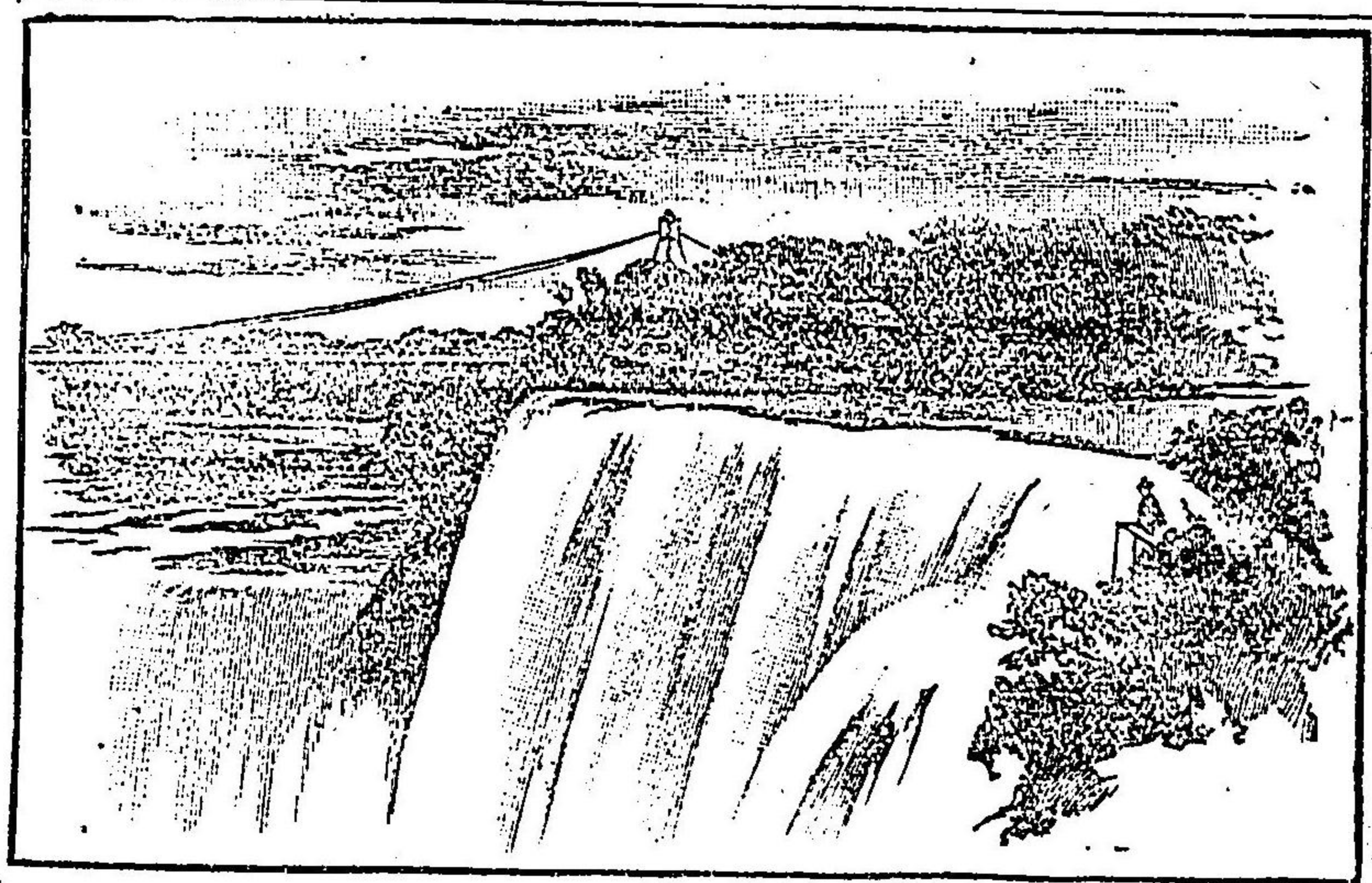
6. Alaska Alaska

3. Puget Puget

4. Seattle Seattle

1. San Francisco San Francisco

2. Tacoma Tacoma



トペヤ一の諸湖あり、カナダの北は、數多の港灣出入し、群島前に羅列す、其最も大なるものをハドソン灣とす。

1. Hudson

水系。東南の湖水及びラブラドル半島の南面區域は、セントローレンス河の灌域に屬す、セントローレンス河口は、開て一大三角江をなし、同名の灣に注ぐ、イリー、オンタリオ兩湖

2. St. Lorenz
St. Laurent

1. Hudson
Hudson

の間には、有名なるナイアガラの瀑あり。

1. Niagara

サスカチワン河の下流をチルソンと云ふ、上流は夏季舟運の利あり、マツケンジー河も亦夏季は舟楫を通す。

3. Nelson

4. Mackenzie

氣候。所によりて一様ならず、西岸は、氣候最も溫和なり、

1. Niagara
Niagara

2. Saskatchewan
Saskatchaowan

内地は大陸性氣候を有し、東岸は寒冷にして、セントローレンス河の如き、冬季氷結す、カナダの北方なる北アメリカの多島海は、世界中最寒の場所なり、又ニューフオンドランド近海は、寒流北より來りて深霧を生じ、氣候沍寒なれども、水産を以て最も名あり。

3. Nelson
Nelson

4. Mackenzie
Mackensie

5. Newfoundland

住民。人口凡そ五百萬、ユーカシアン人種にして、多くイギリス語を用ふ、又フランス人の子孫も少からず、アメリカ

5. Neu Fundland
Terre Neuve

印度人の數は、十萬人に過ぎず、宗教は基督舊教及び新教並

附グリーンランド。

グリーンランドは北アメリカの東北に位し、一面氷雪を以て掩はれ、廣大なる氷河、峽灣に墮落して冰山となる、西岸に二三の殖民地あるのみ、住民は主として、エスキモー種族なり、デンマルク領に屬し、海豹及び鯨の捕獲を業とす。

地方誌。

ハリファックス。東岸にある良港にして、近傍石炭の産地に富む、北アメリカよりイギリスに至る最短距離に當るを以て、カナダ太平洋鐵道の延長線は此處に終れり。
クエベック。セントローレンス河の左岸に位す、此府より上流にモントリアールあり、カナダ太平洋鐵道の起點にして、又汽船の發着所なり。
オッタワ。セントローレンス河の支流、オッタワ河畔にあり、カナダの首府にして、總督此處に駐在す。
イギリス領コロンビア。カナダの内、ロッキーマウンテン以西、太平洋沿岸一帯

1. Groenland
Groenland
2. Eskimo
Esquimau

3. Halifax
Halifax
4. Quebec
Québec

5. Montreal
Montréal
6. Ottawa
Ottawa

7. Columbia
Colombie

の地を總稱せるものにして、林産及び鐵産に富む、南東にヴァンクーヴァー島あり、同島に對し合衆國に接する所の本陸に、ヴァンクーヴァー港あり、此港はカナダ太平洋鐵道の起點にして、又世界航路の要衝に當る、本邦人の在留するもの頗る多く、本邦領事館の設けありて、本邦との貿易も將來最も有望なり。

Vancouver
Vancouver

第七章。東部アジア。

第一節。支那。

1. China

總論。

位置。支那は、中央アジア、及び東部アジアの殆んど全部を、包括する大國にして、我邦の西方に當れり。

境界。北はシベリアに境し、南はトンキン及びイギリス領印度に接し、西はシベリア、ロシア領トルケスタン及びイギリス領印度に接し、東はシベリアと朝鮮とに境し、又黃海及び東海を隔て、朝鮮及び日本の南西部に對す。

廣袤。南北九百里、東西一千三百里、面積は少くとも七十萬方里あり。

イギリス、ロシアに次げる世界の
大國なり

1. China
China

2. Turkesten
Turkestan

區劃。行政上、直省及び外藩に分る、直省とは、直接に支那中央政府の支配を受くる部にして二十二省あり。

直隸	天津	陝西	西安
山東	濟南	甘肅	蘭州
山西	太原	四川	成都
河南	開封	雲南	雲南
江蘇	蘇州	江西	南昌
安徽	安慶	浙江	杭州
湖北	武昌	福建	福州
湖南	長沙	廣東	廣州
廣西	桂林	奉天	奉天

(東部アジア) 支那

(二百七)

貴州	貴陽	黑龍江	齊々哈爾
吉林	吉林	新疆	迪化

就中吉林奉天黑龍江の三省は、滿州の地にして、これを東三省と稱す、新疆省は伊犁の地なり、此東三省と新疆省とを除き、他の十八省を通じて、支那本部の名あり。

外藩は、蒙古、青海、西藏の三部に分る。

地勢。支那の地勢は二ツに分る、即ち中央アジア及び東部アジアこれなり。

中央アジアの地勢。廣大なる高原の性を具し、唯二つの低地を有するのみ、數多の山系は、此區域の境上及び内部に横はり、皆バミール高原より起り、多く東西の方向に連亘す、其最も南なるものは、ヒマラヤ山系にして、其最高點エヴェ

レストは、二萬九千餘尺に達し、世界第一の高峯なり、其北は
 1. Everest
 Everest
 西藏高原にして、世界第一の高原なり、西藏高原の北に崑崙
 山系あり、これより北すれば、階段狀をなして、塔里木河盆地
 2. Kuen-lun
 Koun-lun
 の低原に降る、これ天山南路即ち東トルケスタンの地方なり、此低地の北も、階段狀をなして、天山山系となり、再び降りて
 3. Gobi
 Gobi
 蒙古の境界をなす。

崑崙山系は東に延び、北するものは祁連山、賀蘭山及び陰山の諸山脈となり、支那本部、滿州、蒙古相接する地點に達し、爰に於て興安嶺に連り、南北の方向に走り、以て滿州及び蒙古の境界をなす。

中部蒙古は、ゴビの沙漠、羅布湖の近傍より起りて、興安嶺に至り、其高度約三千尺なり。

1. Everest
 Everest
 2. Kuen-lun
 Koun-lun

3. Gobi
 Gobi

パミール高原の東方を限るを葱嶺とす、葱嶺より連りて、北東に走るを、天山及び阿爾泰の兩山系とす、阿爾泰山系は更に延びて、ヤプロノイ、スタノヴォイの兩山脈に連る。

東部アジアの地勢。崑崙山系延びて黄河、楊子江の間に綿亘す、所謂北嶺これなり、又南嶺は西藏の東邊に起り、楊子江の南部に綿亘し、其西部は横斷山脈に連る、横斷山脈は南北に走りて、數多の縦谷をなし、金沙江、瀾滄江、怒江、龍川江其間を流る。

海岸。支那の海岸は、國土の廣大なるに比しては、割合に長からず、凡そ千里を超えず。

渤海の沿岸。渤海は、遼東半島と山東半島との間なる直隸海峡、これが門戸をなし、内方は二大灣をなして突入す、其

北なるを遼東灣と云ひ、南なるを直隸灣と云ふ。

黄海の沿岸。楊子江以北、直隸海峡以東、一帯の海岸を云ふ、遼東半島の東岸に於ては、其西部に旅順口あり、其東に大連灣あり、灣内方三里に達し、水深くして碇泊に便なり、これ

旅順口、大連灣、及附近の諸島、用する所の名、ロシヤの艦隊に集る。

威海衛及び附近の諸島、用する所の名、ロシヤの艦隊に集る。

膠州灣はドイツの所なり、ドイツの艦隊に集る。

より東北に進みて、大孤山港あり、大連灣の東方、遙に横はれる群島中に、海洋島あり、山東高角の岬を廻れば、榮城灣あり、日清の役我軍の上陸して、威海衛の背後を襲ひし所なり、尙南西に進むときは膠州灣あり、灣内廣く、水深くして、最も良港の名あり、膠州灣以南は海岸稍、低く多くは一帯の低濱にして、島嶼も亦多からず、港灣の名あるものなし。

東海の沿岸。楊子江の口より、臺灣海峡に至るまでを含み、沿岸小灣、良港少からず、楊子江口の南に、錢塘灣あり、浙江

Port Arthur
Port Arthur

これに注ぐ、錢塘灣の東に横はるを、舟山列島とす、東海沿岸は島嶼少からず、就中厦門島最も名あり。

南海(支那海)の沿岸。臺灣海峡以南の區域を占む、南部廣東省の雷州半島及び瓊州島(又海南島)あり、其間を瓊州海峡と云ふ、此海峡の西は、即ちトンキン灣なり。

支那海の沿岸區域は、出入に乏しからず、イギリス領なる香港の小島は、廣東灣の東にあり、灣口の西岸に位する小島は、ポルチエガル領なる澳門なり、西南遙かに瓊州島を望む。

水系。支那は、河流に富む、其最も大なるものを、黄河及び揚子江とす、揚子江は、最も水運の便を與へ、黄河は、屢、洪水の憂を生ず、其他珠江、白河等の巨流あり、其水多くは海に朝宗すと雖ども、然らずして内陸に始終するものあり。

Makao
Macao

黄河は中國の要なり

内地に始終する河流は、羅布湖に入るタリム河、天山北路を流る、伊犁河等にして、沿海に朝宗するものは左の如し。
1. Tarim
2. Ili
3. Sungari
4. Ussuri
5. Hoang-ho
松花江は、滿州中部の大江にして、源を白頭山に發し、嫩江を合せて黒龍江に入る、烏蘇里河は、黒龍江の一支流にして、シベリアと支那との界をなす、河身上流まで汽船を通じ、ウラジオストツクに至るの要路にして、且其右岸はシベリア鐵道の通過する所なり。

- 1. Tarim
Tarim
- 2. Ili
Ili
- 3. Sungari
Sungari
- 4. Ussuri
Oussouri
- 5. Hoang-ho
Hoang-ho

黄河。黄河は、單に河と稱す、崑崙山系の北部に發し、甘肅省の蘭州府に至り、北に向て一大屈折をなし、一度長城の外(所謂塞外の地)に出で、再び南下し、潼關に於て東折し、河南の開封府に至り、東方直隸灣に入る、急流にして水運の便なく、河水は常に黄土を含みて濁り、下流堤防潰壞、水害絶ゆるこ

(東部アジア) 支那

(二百十三)

どなく、河道の變更甚し。

白河。白河は、直隸省の一部を灌漑し、天津より太沽を過ぎて海に入る。
1. Pei-ho

楊子江。楊子江は、單に江と稱し、又長江或は大江と呼ぶ。源を崑崙山系に發し、支那本部に入る、上流を金沙江と云ふ。

大アジア第一の
河、長さ凡
そ一千四百里

横斷山脈の谷に沿ひ、甚しく雲南に向ひて屈折し、東向して宜昌沙市を過ぎ、洞庭湖の水を合せ、漢江の大支流を併せ、鄱

陽湖の水を加へ、九江、蕪湖、江寧、鎮江の四條約港を經、上海に

近く海に入る、崇明島其口に横はり、河口は黃海、東海の境を

なす、宜昌以下は水流緩にして、大船を行るべし、其本支流に

沿ひて條約港八あり、重慶、宜昌、沙市、漢口、九江、蕪湖、江寧、鎮江

これなり、沿岸各地は、地味最も肥沃、物産最も饒にして、又炭

田に富めり、其下流は、運河縱横に通じ、又有名なる大運河も此所にあり。

珠江。珠江は、一に粵江と云ふ、西洋人の廣東河と稱する

ものこれなり、其本流は西江にして、源を雲南省の東方に發

し、上流を盤江と云ふ、廣西省の梧州以下は、大船を通じ、下流

四近、特に其三角洲は、地味最も豊饒なり。

氣候。西藏、蒙古の高原は、寒暑共に烈しく、極めて乾燥に

して、支那本部中、黄河及び楊子江の灌域は、氣候頗る溫和な

り、支那本部に於ても、北部の冬は酷くして、南部の暑は烈し

きも、中央アジアの如く、大陸性の氣候を有せず、且つ何れの所も、雨量に不足を告ぐることをなし。

(東部アジア) 支那

(二百十五)

- 1. Pei-ho
Pei-ho
- 2. Jang-tse-kiang
Yang-tse-kiang

- 3. I-tschang
I-tchang
- 4. Scha-schi
Cha-chi

- 5. Tung-ting
Toung-ting
- 6. Han-kiang
Han-kiang

- 7. Po-jang
Po-yang
- 8. Kiu-kiang
Kiou-kiang

- 9. Wu-hu
Wu-hu
- 10. Kiang-ning
Kiang-ning

- 11. Tsching-kiang
Tching-kiang
- 12. Tschung-king
Tchung-king

- 13. Han-kau
Han-keou
- 14. Si-kiang
Si-kiang

- 15. Wu-tschou
Wu-tcheou

部は已に熱帯に入り、且つ氣候風の影響を受け雨量多し、其沿海部は夏秋の交、颶風の襲來最も恐るべし、これを大風と稱し、海賊と共に支那海に於て最も恐るべきものとす、大風の起るや、漸く來て本邦を襲ふを常とす。

住民。支那の人口は、凡そ四億三千二百萬にして、此内支那本部は四億二千三百萬、滿州は五百七十萬あり。

これ等四億餘の人民は、多く支那本部の沿海及び河岸に住す、支那一局部の人口非常に稠密なるが故に、海外に移住せる者は、全世界に亘り、無慮三四百萬なり。

人種。支那の人種は、大別して漢種蒙古種、トルコ種、トルコ種、西藏種、苗種の六つに分る。

言語。蒙古語、トルコ語、漢語、トルコ語の四大別あり、漢

- 1. Tungus
Toungouse
- 2. Türke
Turc

殆んど本邦の十倍あり

本邦在留の人民に凡そ六千人あり

語は支那本部地方に主として行はる、上流社會一般に通ずるを、官語と云ふ。

性質及び風習。支那の大部を占むる漢人及び滿州人一般に就て、其主要なる特性を擧ぐれば、一、勤儉の性質に富み、多くは吝嗇なり、二、容易に舊來の習慣を捨てず、但し其利を^見知るときは、舊を捨て、新に就くこと、極めて急劇なり、三、忍耐の性質に富む、四、商業上に敏活にして、團結を固くす、五、人種の雜駁、方言の多種等、其他^時般の關係、各地同一ならざるにより、一國民としての觀念に乏し。

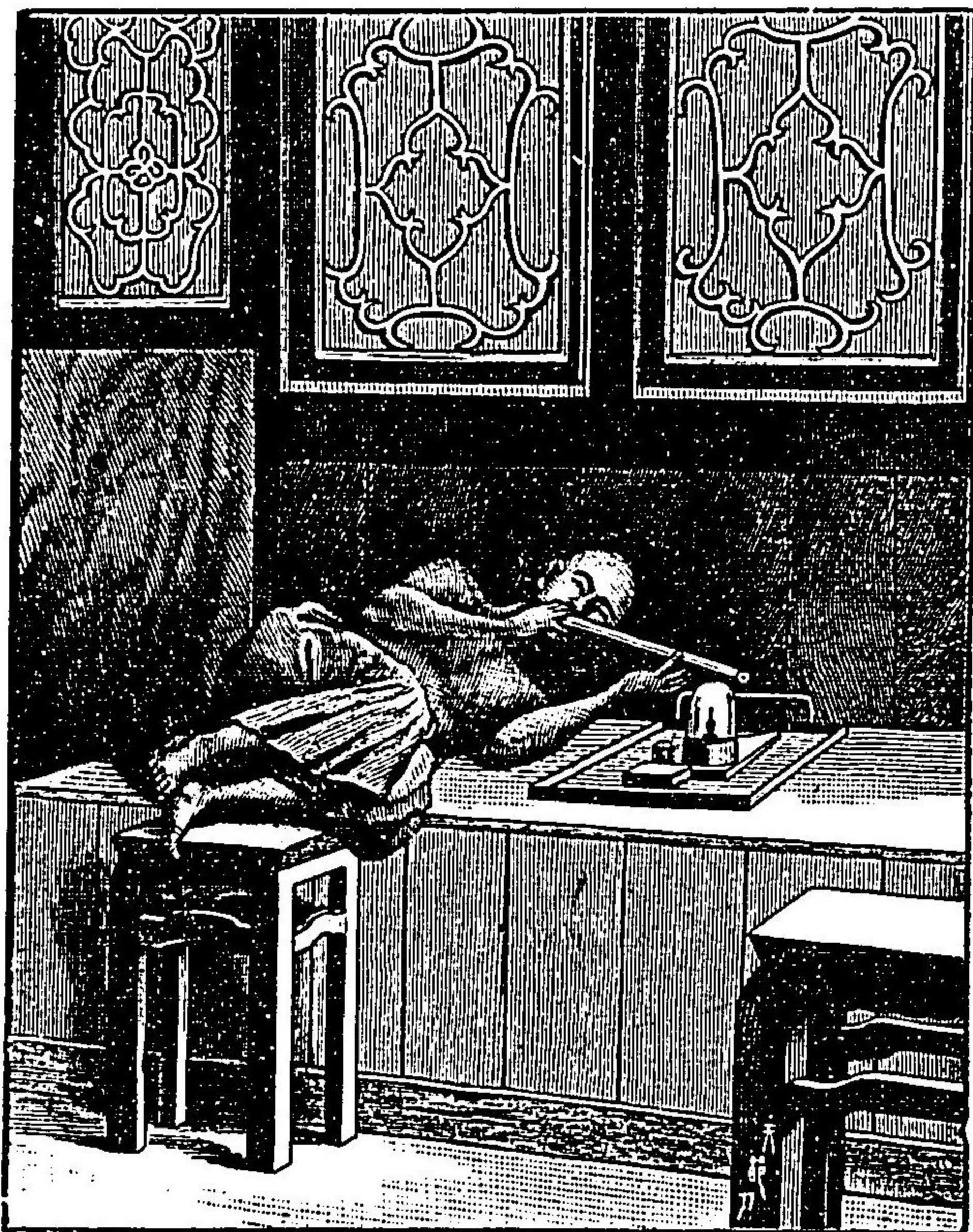
食物。南部は米、北部は粟、膏粱等を常食とす、支那人は脂肪多きを好み、特に豚を用る、寒冷なるもの、又は糞熱せざるものは一切用ひず、盛宴には食品の數非常に多くして、且つ

燕窩・熊掌・魚翅の如き、山海の珍味を加ふ、これ支那食物の特性なり、近世に及んで、彼等は阿片烟を吸ふ習慣に陥り、政府これを嚴禁すれども廢すること能はず。

衣服。衣服は上衣及び下裳より成り、男子は中央一部の頭髮を存し、他はこれを剃り去り、打組みて長く背後に垂る、男子四十歳未滿のものは多く鬚を蓄へず、又一般に爪の長さを誇り、勞働せざる證とす、支那本部の女子は、足の小なるを以て美とし、幼時より纏束して自在に發育することなからしめ、脚底彎曲して馬蹄の狀をなし、獨り行歩すること能はずして、侍女の助による、所謂纏足^ト也、阿片吸煙と共に支那風習の二大弊とす。

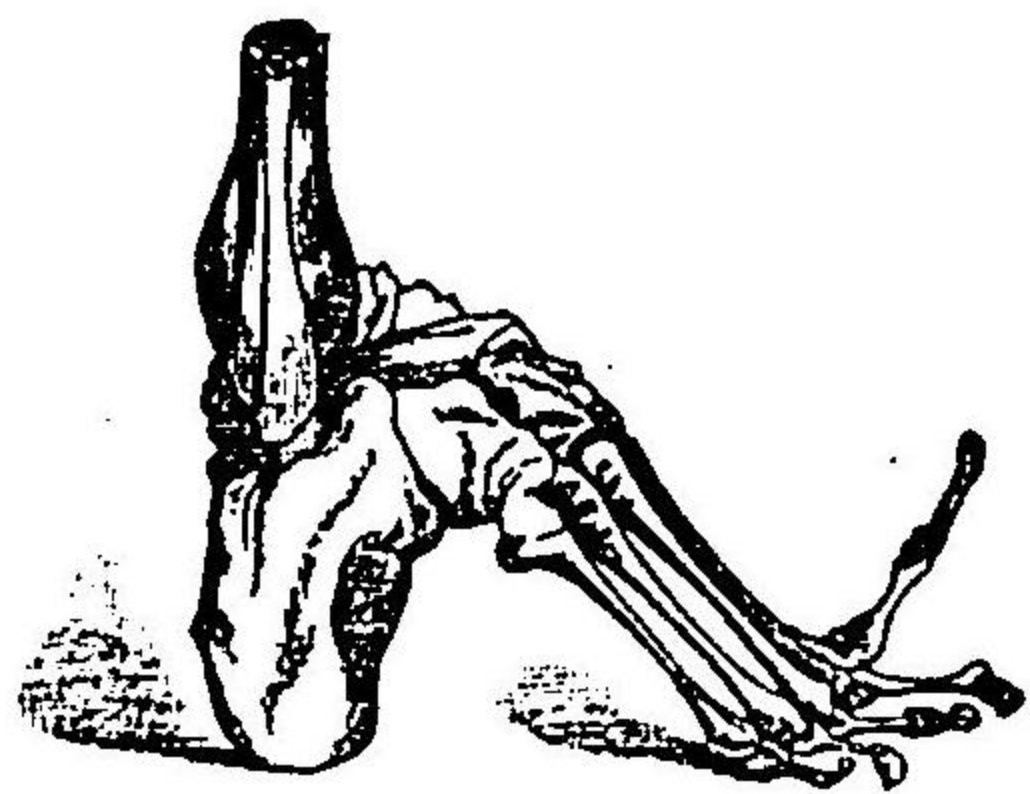
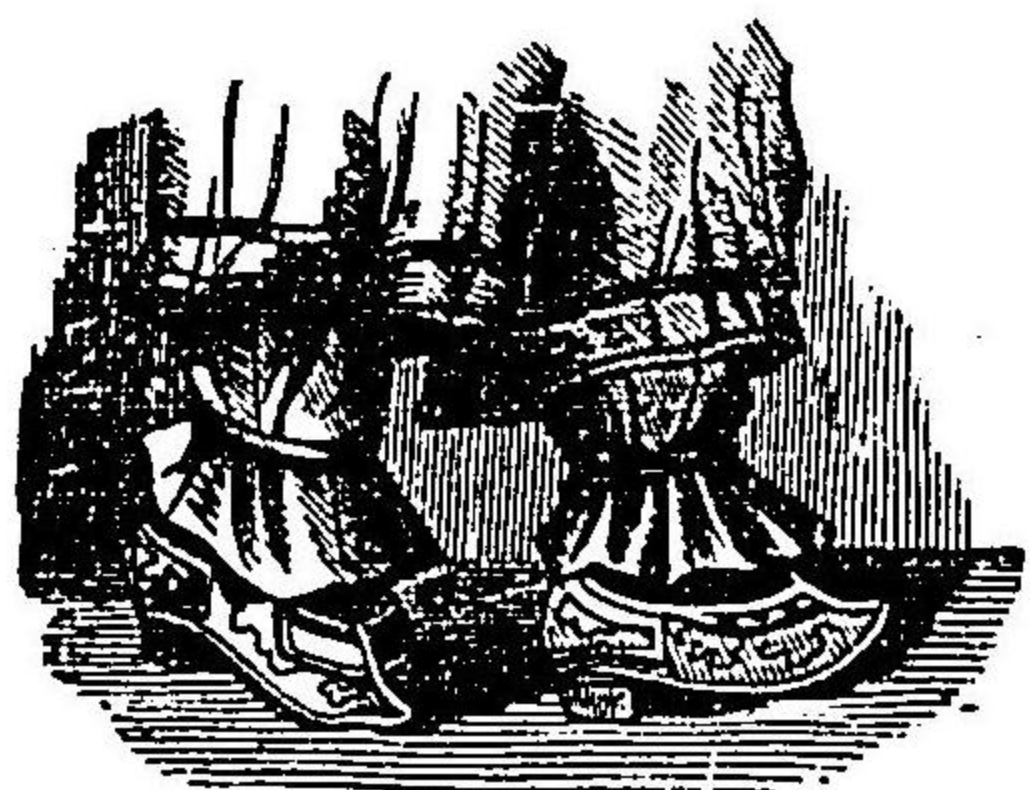
纏束の制は清朝に始れり

阿片煙ヲ吸フノ圖



纏足ノ圖

纏足ニ基ル骨ノ畸形



祭は鄭重に行ひ、祭祀は祖先を祭るを第一とし、關羽祭

これに次ぐ、墓所を定むるには、許多の費を投じ、其地相の善きを撰びて、子孫長久の基とす。

教育。教育の制度は、官吏を養成するを以て目的とす。國子監は北京にあり、文武官を養成する特別の大學校なり。泰西の學術を授くる洋式學校は北京、上海、廣東にあり、其他天津に醫學校及び電信學校あり、海陸軍學堂は、新式の兵學校にして、北京、天津、漢口、福建にあり、特別の學校を除き、他は皆經史文章を教授し、以て科擧に應ずるを目的とす。科擧に應ずるには、歲試、鄉試、會試、殿試を経るを要す。皇帝親しく殿上に於て考試するを殿試と云ふ。及第者を進士と云ひ、其成績により官に任ぜらるゝこと各、差あり、近時泰西の風に習ひ、大中小學校を建設するの擧あり。

宗教。支那は殆んど凡ての宗教を網羅せり、今これを擧ぐれば、儒道佛白蓮喇嘛回基督猶太拜物の九教あるを見る、其最も行はるゝは、儒道佛の三教なり。

政治。君主専制にして、其政治機關は、帝室部中央部及び地方部より成る、帝室部は、宗人府及び内務府より成る、宗人府は、皇族の政令を掌り、内務府は、帝室の庶務を總理す、中央部には内閣ありて、皇帝を補翼す、然れども別に辦理軍機所ありて、軍國の機務を參決し、内閣の實權は移て此所にあり、内閣の次に、吏戸禮兵刑工の六部衙門ありて、各部の政務を處理す、別に海軍部あり、又總理各國事務衙門ありて、外國に關係する事務を掌り、都察院ありて、官吏の風紀、政治の得失を糾し、理藩院ありて、藩部の政務を掌る。

軍に總理衙門と稱す

一 地方部。二十二省の中、東三省を除き、十九省には、一省或は二三省に、總督一人を置き、軍務を統べ、文政を布く、別に各省巡撫一人を置く、但し河南山東山西の三省には、總督を置かず、又四川直隸の二省は、各一總督あり、別に巡撫を置かず。蒙古及び西藏は、理藩院の管理の下にあり、蒙古は數多の旗に分る、每旗に札薩克^{ハカ}を置き、酋長を以てこれに充つ、札薩克なき地方には、將軍、都統又は大臣を置き、文武の政を掌らしむ、西藏は、教王の支配に任じ、北京より派遣せる官吏、これを監督するに止まる。

各省の下に府あり、府の下に州縣廳あり、知府これを監督す、直隸州なるもの別にありて、省に直隸し、府に屬せず。兵備。陸軍は、八旗、綠旗及び勇の三者より成る。

八旗の名は、軍隊の旗色に由来したる總稱にして、正黃、正白、正紅、正藍、鑲黃、鑲白、鑲紅、鑲藍の八旗を用ゐ、每旗に都統、副都統を置き、これを統轄す、もと滿州兵のみを以て、八旗をなせしも、其後蒙古八旗、漢八旗を編し、總計二十五萬あり。

綠旗は、漢人を以て組織し、其數四十六萬、大抵各省に駐防す、又長髮賊、亂を起したるとき、各省より募集せし郷勇を勇兵と稱す、當時大に功を奏し、其制今尙存す、八旗及び綠旗の兵より、撰拔したる軍を、練軍と稱す。

海軍。近世に至り、新に海軍部を設置し、北洋艦隊、南洋艦隊、福建艦隊、廣東艦隊を統ぶ、然れども最も精銳なる北洋艦隊は、日清の戰役によりて全滅し、今は脆弱なる殘餘の三艦隊あるのみ。

軍事に屬する製造所には、福州の馬尾船政局、及び上海の江南機器局、規模最も大なり。

外交。古來より我邦と通商せし國にして、現今北京に公使館、上海に總領事館、牛莊、天津、芝罘、重慶、漢口、杭州、廈門、沙市、福州、蘇州に領事館を置く。

産業。支那は、物産非常に富裕なりと云ふを得べし。

主要なる農産物は、米、麥及び高粱とす、北部は畑多くして、麥を主とし、南部は水田多くして、米を主とす、高粱は四川省に産するもの、多量にして且つ良質なり。

人參は、帝室の所用に供し、人民の採取を禁ず、滿州其他の山林に多し、茶及び棉は、支那南部の主要なる農産物なり、阿片は近年まで、専ら印度の輸入を仰ぎしが、近時盛んにこれ

を培養す、蠶絲も亦茶と共に、重要輸出品の一にして、其産額頗る多く、就中浙江省の杭州府を第一とす、繭綢は山東省の名産とす。

石炭及び鐵鑛に富み、炭田の面積は、約數萬方里を超ゆと云ふ、目下盛に採掘せるは、開平四近の炭坑なり、鐵鑛は非常に富裕にして、全國到る所これを産出す、其他金、銀、銅鑛等又少からず、殊に雲南を以て最も主要なる産地とす、東洋特有の鑛物たる玉は、崑崙山系より産す。

牧畜は盛にして、騾馬及び驢馬は共に北支那に多し、沙漠地方には駱駝を牧す、綿羊、山羊の大牧場は蒙古にあり、豚は盛んにこれを飼養し、最も其肉を嗜む、天産の動物には、南部に虎あり、又雲南の森林中には、象、犀、獾等あり。

礦産

畜産

工業

工業。支那の工業地は南部にあり、陶器、紫檀細工、絹布織布、製鐵、造船の業を主とす、陶器は南京、燒古より名あり、九江を以て、支那陶器産地の第一とす、製鐵所は張之洞の計畫したる所にして、漢口の近傍なる、漢陽府の城北にあり、其規模至て大なり。

商業

商業の最も盛なるは、上海にして、支那外國貿易の中心なり、内國商業の中心とも見るべきは、漢口にして、其外國貿易も漸次盛大の兆あり、廣東は支那商業南部の中心にして、天津は北部の中心なり。

重要なる輸出品は、絹絲及び茶にして、絹絲は輸出總額の凡そ三分の一、茶は凡そ五分の一に達し、砂糖、紙織物、陶器等これに次ぐ。

本邦との貿易も亦盛大なり

重要なる輸入品は、金巾及び阿片にして、金巾は輸入總額の三分の一、阿片は五分の一に達す、即ち支那は絹絲を以て金巾を買ひ、茶を以て阿片を買ふものと云ふべし、金巾及び阿片に次ぐを、金屬及び石油とし、水産物、毛織物等又これに次ぐ。

貿易場の已に開かれたるは三十二ヶ所にして、これを列舉せば、渤海の沿岸に、牛莊(營口)秦王島天津の三港、黃海の沿岸に、芝罘の一港、東海の沿岸又はこれに近く、上海蘇州杭州寧波温州福州三都澳廈門の八港、南海の沿岸に近く、汕頭廣東瓊州北海の四港、揚子江畔に、鎮江江寧蕪湖九江漢口沙市宜昌重慶の八港、洞庭湖畔に、岳州珠江の沿岸に、梧州南寧及び三水あり、又賣買城、龍州思茅及び蒙自の陸路貿易場あり、

- | | | |
|---------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 5. Sz' mau
Sse-mao | 3. San-schui
San-chui | 1. Su-tschau
Su-tcheou |
| 6. Mōng-ting
Mēng-ting | 4. Lung-tschou
Lung-tcheou | 2. Jo-tchou
Yo-tcheou |

開港場

此中宜昌重慶沙市杭州は日清の役後、我邦に對して新に開きし四港なり、上海は貿易全額の半を占め、廣東これに次ぎ全額の一割を占む。

陸路貿易場中、ロシア領キヤクタに接せる、賣買城の如きは、最も盛んなりとす。
Kiakhta

交通。支那の交通は、未だ十分なりと云ふを得ず、其沿海航路は汽船の往來盛んなりと雖ども、内地に至ては、不便なる點少しとなさず、鐵道は、僅に北京天津山海關を通ずるのみ、外に上海吳淞間に短距離の鐵道あり、北部は道路稍、見るべきものありと雖ども、南部は水利を恃みてこれを修めず、電信は到る所其便あれども、郵便の制は未だ十分ならず、水路はこれを内地航路、及び沿海航路に分つ。

Kiachta
Kiakhta

鐵道は漸次北
長せり西に延
す

内地航路の主たるものは、揚子江、珠江及び大運河の三とす。大運河は、隋の煬帝の開鑿せる所にして、浙江省の杭州府に起り、揚子江、淤黄河、黄河を横斷し、天津に於て白河に通ず、長さ三百二十五里、支渠を合すればこれに倍す、其大なると全世界中比類なし、揚子江下流地方には、小運河非常に多く、水利至大なり、沿海の航路は非常に發達し、各開港場は勿論、東は本邦及びアメリカに通じ、南西は南洋諸島及びヨーロッパに達し、其往來極めて盛なりと雖ども、其會社は實際外國人の手によりて經營せられ、全く支那人の營めるは、僅かに招商局あるのみ。

道路。北部の道路は、稍整頓し、多くは車馬を通ずるに難からず、支那の俗に、南船北馬と稱するは、これが爲なり、但し

陝西省より、四川省の成都に入るは、險にして、所謂蜀の棧道と稱するものなり、運搬は車馬、人肩に依る、又一輪車なるものあり、一に手車と云ふ、一輪にして、往々帆を附する者あり。郵便の制は完全ならずと雖ども、信局なるものあり、私立郵便なり、又飛脚の制あり、各開港場間には、官設の郵便あり。

電信は支那全國到る所、重要なる諸邑を連結し、延て諸外國に通じ、南は廣東より、トンキンに通じ、海底、陸上各一線あり、又雲南より、トンキンに通ずる陸上線あり、西は北京より、天山南路に通じ、東は海底線によりて、本邦の臺灣及び長崎に通じ、北は朝鮮の義州は勿論、ロシア及び朝鮮の境に近き、琿春及びシベリア南部のキヤクタに通ずるに至れり。

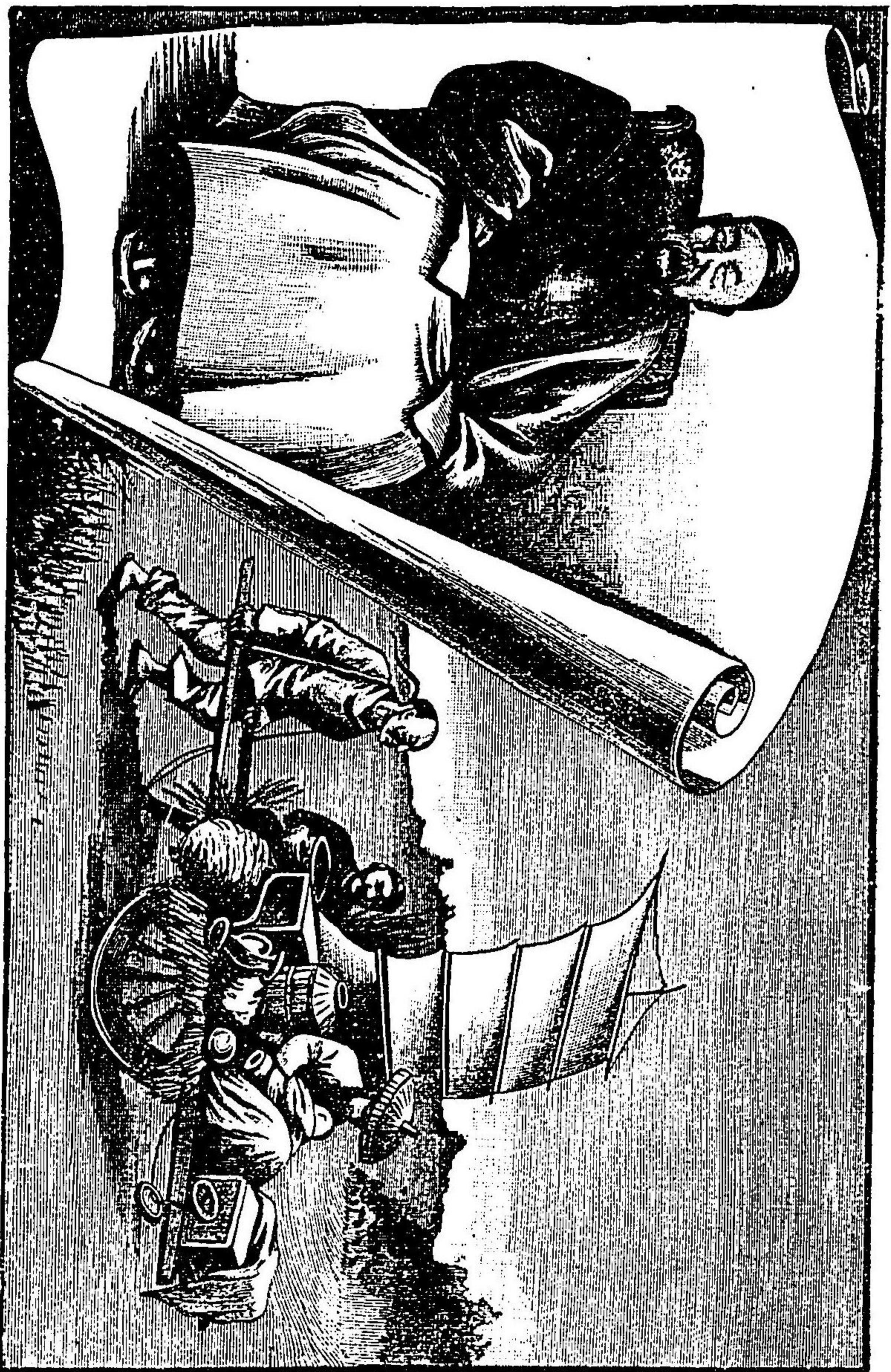
地方誌。

イ、支那本部。

支那本部は、即ち十八省の總稱にして、南嶺、北嶺はこれを三部に分ち、黄河、楊子江及び珠江の三大河、其間を流る、北部は、北嶺以北にして、即ち主として黄河の灌域に當り、中部は、二嶺の間にして、主として楊子江の灌域に當り、南部は、南嶺以南にして、主として珠江の灌域に當る、北部は、大陸性氣候を有し、冬殊に厳しく、南部は、熱帶に入り、瘴癘多く、中部は、氣候溫和、地味最も豊饒なり。

直隸省は、東北を占め、燕、趙の故地なり、國都北京の所在地にして、帝國第一の要地なり、故に此一省を以て一總督を置く、東南は、平地廣大にして、所謂中原の一部をなす、舟楫を

Tschili
Tchi-li



通ずるは、運河、白河等あるのみにして、交通は、主として陸路に依る。北部は、石炭多く、開平炭坑の鐵道は、天津より起り、開平を経て、山海關に達す、又近時天津より北京に至る蘆津鐵道落成せり。

Peking 北京。北京は、現今清朝の國都なり、一に燕京と稱す、市街を圍らすに、城廓を以てし、廓内を又内外二城に分つ、内城の中に皇城あり、皇城の中に大内あり、此所は皇帝の居城なり、内城は、諸官衙、各國公使館等を包含すれども、其商業の繁盛は外城に及ばず、西北隅の門外に圓明園あり、イギリス、フランスの同盟軍、嘗て北京に逼り、兵をこゝに駐め、爲めに兵火に罹りたり、人口凡そ百六十萬、街路廣濶なれども、凸凹甚しく且つ不潔を極む、本邦公使館は内城の正陽門内にあり。

天津。北京に入るの咽喉にして、直隸總督此所に駐在す。
1. Tien-tsin
支那條約港の一にして、且つ北部貿易の中心なり、白河の河口に近き太沽より、流に沿ひ浜れば、其左岸に在り、冬季は十
一月中旬より、河水氷結するを以て、其貿易は夏季に限れり、
本邦領事館あり、白河口に近き太沽(天津より十四里)に、砲臺
の設ありて、兵備を嚴にす。

承德府は、一に熱河と稱す、北京の東北、凡そ六十里に當り、
イギリス、フランスの同盟軍、北京に逼りしとき、清帝避難の
地たりき。

山東省。南は江蘇省に接し、西は直隸省に境し、東は山東
2. Shan-tung
半島遠く黃海中に突出し、其端を山東高角と云ふ、泰山は半
島西端にあり、五岳の一にして、東岳又岱宗と稱す、沿岸には

1. Tien-tsin
Tien-tsin

2. Schantung
Chan-toung

芝罘、威海衛、榮城、濰州、膠州灣等の良港あり、膠州灣附近は、ドイ
ツ國現今これを占領す。

濟南府は、山東省の首府なり、府の南に歷山あり、舜の耕せ
し所とす。

芝罘は、條約港の一にして、北支那に於て氣候最も順良の
1. Chifu
地なりと稱す、本邦領事館あり。

威海衛は、芝罘の東にありて、劉公島其口を扼し、要害堅固
2. Wei-hai-wei

なる軍港なりしも、日清の役、北洋艦隊、此所に於て全滅に歸
し、其砲臺は全く撃碎せられ、償金を皆濟する證として、我威
海衛占領軍、久しく駐在したりき、現今はイギリス國これを
占領す。

山西省。東は直隸省に接し、西は黃河を以て陝西省に隣

3. Shansi
(東部アシア) 支那

3. Schansi
Chun-si

1. Tschifu
Tchi-fou

2. Wei-hai-wei
Wei-hai-wei

す、恒山は一に北岳と稱し、五岳の一なり、首府を太原府と云ふ。

河南省。東は安徽、江蘇、山東の三省に接し、西は陝西省に境す、嵩山は五岳の一にして、中岳と稱す、黄河は省の北部を貫通し、洛水の一支流これに會す。

都府の重なるものには、開封及び河南の二府あり、開封府は河南省の首府にして、河南府は洛水の北にあり、古の洛陽の地なり。

陝西省。東は山西、河南兩省に接し、西は甘肅省に境す、羊毛、苧麻を主なる物産とす、華山は五岳の一にして、西岳と稱す、北は渭水の流域にして、關中の平野をなし、首府西安府は其中心なり、南は漢江の流域にして、漢中府は其中心たり、西

1. Honan
Ho-nan

2. Schensi
Chen-si

安府は古の長安にして、漢唐の故都なり、渭水其北を流れ、其水清し、名所舊跡多く、阿房宮跡亦此中に在り。

甘肅省。東は陝西省に接し、西は青海に隣す、蘭州府は甘肅省の首府にして、陝甘總督此所に駐在す。

江蘇省。東は黃海に濱し、西は河南及び安徽兩省に接す、地勢最も平坦にして、大江は南部を貫き、高郵、洪澤の二湖、大運河及びこれに通ずる河渠、縦横に省中を流通し、水利最も便に、地味肥沃にして、物産豊なり。

蘇州府は、本省の首府にして、太湖に望み、古吳の都せし所なり、姑蘇山、寒山寺の故跡は府の近傍に在り。

江寧府は、世に南京と稱し、大江の南岸にあり、元市街の規模宏大にして、北京を凌ぎしも、長髮賊の亂に際して、大に侵

1. Kansu
Kan-sou

3. Su-tschou
Sou-tcheou

(東部アツフ) 支那

(二百三十五)

略を蒙り、近來漸く其面目の一部を恢復するを得たり、兩江總督の駐在する所なり。

上海は、黃浦江によりて、楊子江に通ず、大船此に入るを得

1. Shanghai

べし、人口凡そ四十萬、支那條約港中、最も重要なるものにして、外國貿易の中心なり、其近傍の吳淞口には、砲臺を設け、黃

浦口には、江南機器局を置く、市街平坦、運河縱横に通ずる便あるも、街路狹隘にして、不潔なり、吳淞との間に鐵道を通ず、

本邦總領事館、日本郵船會社支店、正金銀行支店あり。

鎮江府は、條約港の一なり、江寧府の東方に當りて、同じく

2. Chin-kiang

長江の南岸に位し、且つ大運河と長江との會合點にあり、揚州府は鎮江と相對し、古來風流繁華の地なり。

安徽省。東方は江蘇、浙江の二省、西方は河南、湖北、江西の

3. Ngan-whei

吳淞は上海外
港の名義にて外
開港せられたり

1. Schang-hai
Chang-hai

2. Tsching-kiang
Tching-kiang
3. Nganwhei
An-hoei

三省に依て圍繞せらる、長江は省中を貫通し、最も舟楫の便あり、首府を安慶府と云ふ、大江の左岸にあり、蕪湖は條約港の一にして、長江の右岸にあり。

1. Wu-hu

江西省。東は浙江、福建兩省に接し、南は廣東省に境す、長

2. Kiang-si

江北部を通過す、省の北部に鄱陽湖ありて、江に通ず。

南昌府は、本省の首府にして、鄱陽湖の水、長江に通ずる所、

九江あり、條約港の一にして、支那第一の陶器製造場あり、九

3. Kiu-kiang

江に香爐峯の名山あり。

浙江省。北は江蘇省に接し、南は福建省に境す、杭州府は

4. Che-kiang

5. Hang-tschou
Hang-tcheou

本省の首府にして、錢塘江岸にあり、本邦領事館あり、此地は風景の美と、海嘯津浪に非ずの壯觀とを以て其名著はる。

東海岸には、寧波及び温州の兩條約港あり、我國舊時の遺

(東部アム) 支那

6. Ning-po 7. Wen-chau

(二百三十七)

7. Wen-tchou
Ouen-tcheou

5. Hang-tschou
Hang-tcheou
4. Ning-po
Ning-po

3. Kin-kiang
Kiou-kiang
4. Tschekiang
Tché-kiang

1. Wu-hu
Wu-hu
2. Kiangsi
Kiangsi

唐使は、多く寧波に着せしなり、温州は浙江省の南東岸に位し、温州蜜柑の名産あり。

福建省

1. Fo-kien

東は臺灣海峽を隔て、我臺灣に對し、西は江西省に境す、福州府は本省の首府なり、人口凡そ百萬、貿易隆盛、福建艦隊の根據地、閩浙總督の駐在所にして、本邦領事館あり、近傍に馬尾船政局あり。

2. Fu-chau

廈門は福建省の南東部にあり、茶及び砂糖を以て重要な輸出品とす、將來有望の地なり、本邦領事館あり。

3. Amoy

廣東省

4. Kwang-tung

支那の東部を占め、地勢山岳多しと雖ども、珠江の本支流域内を貫通し、江岸に平地多く、且つ水利頗る便なり、本省の人は商業最も巧にして、山西省の人と並び稱せらる、都邑の主なるものに廣州、汕頭、瓊州、北海の條約港あり。

廣州府は廣東省の首府にして、又兩廣總督の駐在する所なり、世上單に廣東と稱す、人口二百萬、支那南部貿易の中心なり、此地珠江を控へ、香港に對し、頗る緊要の地にして、廣東艦隊の根據地なり。

1. Kwang-chau

2. Canton

瓊州は瓊州島の北岸にありて、其條約港を海口と云ふ、北海は、トンキン灣に濱し、汕頭は、廣東省の東北隅に位す、何れも條約港なり、汕頭の北に潮州府あり、韓愈の故事を以て著はる。

3. Kiung-chau

5. Swatow

4. Pakhoi

廣西省。東南は廣東省及びトンキンに接し、北は湖南貴州に境す、桂林府は本省の首府にして、西江の支流桂江の岸に濱する小都會なり、梧州は廣東省に接近し、西江の左岸にあり、近時イギリス國の爲めに、新に開きたる條約港なり。

6. Kwang-si

5. Swa-tan Swatow
6. Kwangsi Kouan-si

3. Kiung-tschou
Kiung-tcheou
4. Pak-hoi Pa-koi

1. Kwang-tschou
Kouang-tcheou
2. Kanton Canton

1. Fo-kien Fou-kien
2. Fu-tschou Fu-tcheou

3. Amoy Amoy
4. Kwangtung Kouang-toung

湖北省

1. Hupei

東は安徽省に接し、西は四川陝西兩省に隣す、中央は平野廣大にして、長江及び漢江の流域に當り、數多の湖沼ありて運輸至便なり、武昌府は本省の首府にして、又湖廣總督の所在地なり、大江を隔て、漢陽府及び漢口と相對し、鼎足の勢をなす、赤壁は此近傍にあり、漢口は漢江の口に位し、支那内地商業の中心にして、所謂九省の通衢に當る、人口八十萬、茶を重要なる輸出品とす、本邦領事館あり。

荆州府は、もと楚の都にして、府内の沙市には、本邦領事館あり。

3. Sha-shi

4. I-chang

宜昌も亦條約港の一なり、長江汽船航路の終點に位し、四川省に入る門口に當り、頗る重要な位置を占む、上海を距ること殆んど一千哩なり。

湖南省

1. Hunan

東は江西省、西は貴州四川兩省に境す、四方連山を以て圍まれ、中央に衡山あり、五岳の一にして南岳と稱す、省中の河水は、洞庭湖に入り、遂に長江に通ず、湘江の岸に長沙府あり、本省の首府にして、此近傍の都邑なり。

四川省

2. Szu-chuan

古の蜀の地なり、東は湖北湖南兩省に接し、西は横斷山脈によりて西藏に接す、湖北の境には、巫山の峽あり、東の境には蜀の棧道ありて、本省は天險の地なり、省内地味肥沃にして、物産最も饒なり、就中鹽井頗る多し、成都府は、首府にして、四川總督の駐在地なり、重慶府は、宜昌を距る四百哩、馬關條約によりて、新に開きたる四港の一にして、本邦領事館あり。

貴州省

4. Kwei-chau

(東部チワン)

東は湖南省、西は雲南省に接す、地勢山多く、平地

- 3. Tschung-king
Tchung-king
- 4. Kweitschou
Kwei-tcheou

- 1. Hunan
Hou-nan
- 2. Sz'tschwan
Sse-tchouan

- 3. Scha-schi
Cha-chi
- 4. I-tschang
I-tchang

- 1. Hupei
Hou-pé
- 2. Han-kau
Han-keou

極めて少し、首府を貴陽府と云ふ。

雲南省。東は廣西貴州二省に接し、西はビルマ及び西藏に界す、西部は横斷山脈連亘し、交通殆んど絶ゆ、域内を流通する大河多く、金沙江、怒江、瀾滄江、盤江等諸大河の上流あれども、急流にして舟運の利あるもの殆んどこれなし、雲南府は、本省の首府にして、雲貴總督の駐在する所なり。

口、滿州。

2. Manchuria

滿州は、清朝開基の故地にして、現今奉天、吉林、黒龍江の三省に區分せられ、支那全國の東隅に位するを以て、東三省の名あり、長白山脈東部に蜿蜒し、其最高點、白頭山は朝鮮の境上に位し、又西南に走りて、摩天嶺を起し、金州半島の脊骨をなす、湖水の有名なるものを、興凱湖とす、烏蘇里江の水源に

3. Chanka
Chanka

2. Mantschurei
Mandchourie

1. Jannan
Yun-nan

して、魚族充滿す、氣候は、大陸性にして、寒暑共に烈しく、地味肥沃なれども、人烟稀少、農産未だ豊ならず、高粱頗る多し。林産は、針葉樹最も多く、鑛産は、金最も名あり、水産も亦少からずと雖ども、土人未だ漁業に精からず、又獸皮に富み、就中貂皮最も名あり、土人は貂皮を以て、商業上貨幣に代用するに至る。

滿州人は、トングス種に屬す、滿州八旗の兵を出すものにして、これを旗人と稱し、移住の漢人は、これを民人と稱して區別す。

奉天省。一に盛京省と稱す、遼河の灌域に當りて、所謂遼東の平野をなす、奉天府は一に盛京と稱し、首府なり、山海關を距ること百二十四哩、圍らすに城廓を以てす、府尹、將軍、五

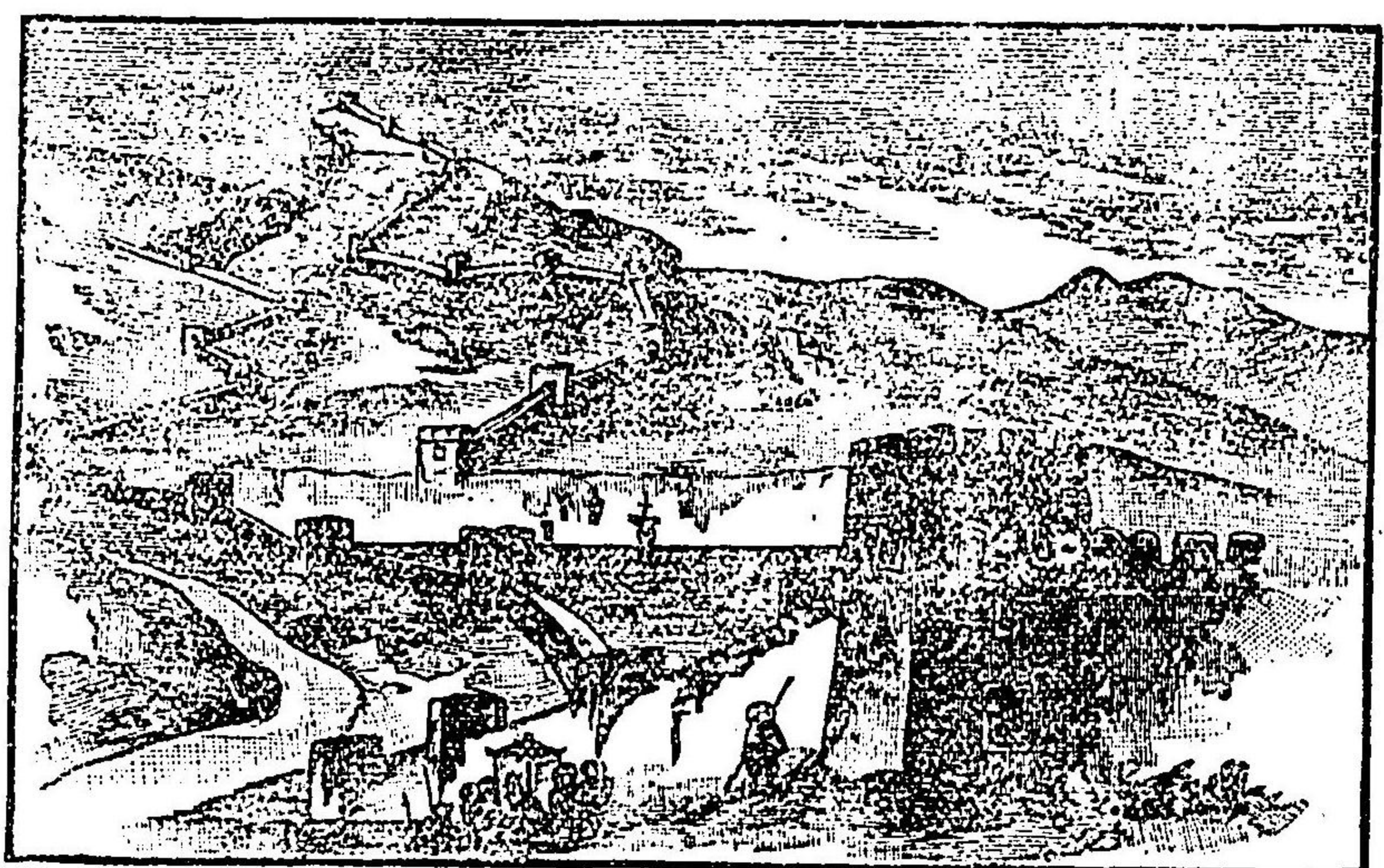
Mukden
Moukden

部の衙門、此都府にあり、東三省政治上の中心にして、商業亦繁盛なり、牛莊は遼河の左岸にある條約港にして、營口即ちこれなり、本邦領事館あり、近傍に田庄台、海城、蓋平等、日清の役に有名なる土地多し。

遼東半島の端に近く、旅順口あり、其東に大連灣あり、其北に、金州廳あり、又鴨綠江の右岸にありて、朝鮮義州に對するを九連城とす、九連城の西北に當り、鳳凰城あり、何れも要害の地にして、日清の役に其名高し、興京は清朝創業の地、花園口は日清の役、我軍の上陸せし所なり。

吉林省。滿州の東部を占め、松花江によりて、黒龍江省と境をなす、吉林府は本省の首府にして、松花江に濱し、舟運の便あり、吉林將軍此所に駐在す、寧古塔はシベリア及び朝鮮

旅順口及び大連灣附近は、大日本國これに占領す



(東部アムル) 支那

萬里の長城

に入る要路に當る、而して二國の境上に密接する、琿春城は、最も緊要の地なり、^{1. Hsin-chun} 黒龍江省。滿州の西北部を占め、松花江の支流これを貫流す、齊々哈爾城は、本省の首府にして、黒龍江將軍此所に駐在す、愛琿は一名黒龍江城と稱す、^{3. Aigun} 黒龍江の岸に位し、ロシア領と一帶の水を隔つるのみなれば、極めて緊要の地なり。

- 1. Niu-tschwang
Niu-tchwang
- 2. Port Arthur
Port. Arthur

- 3. Kirin
Ghirin-oula
- 4. Ninguta
Ningouta

- 1. Hun-tschun
Hun-tchun
- 2. Tsitsihar
Tsitsikar

- 3. Aigun
Aigoun

ハ、蒙古。
Mongolia

支那全國の北部を占め、北はシベリアに境し、南は略、萬里の長城によりて、支那本部に接す、沙漠中部を縦貫し、全土を内外の二部に分つ。

域内には黄河の一部、流通するの外、河流の大なるものなし、氣候は大陸性にして、且つ沙漠の暴風は、其勢猛烈なり、地味亦瘠せて、農産に乏しく、唯家畜を以て物産の主たるものとす。

蒙古人は、通常身長中様より低く、強健なり、常に騎し、最も競馬を好み、決して身體の全部を洗はず、顔及び手を洗ふことも極めて稀なり、これ水を嫌ひ、且つ殆んどこれを恐るゝに因る、多くは喇嘛教を信ず、貴族及び喇嘛教徒を除くの外、

Mong. lei
Mongolie

其死者の體を委棄して鳥獸の餌に供す。

現今要地に將軍都統大臣を置き、以てこれを統御す。

庫倫は又ウルガと稱す、外蒙古北部の中心たる都府にして、喇嘛教徒頗る多く、其殿堂は頗る壯嚴なり、賣買城はロシ

1. Urga

アの境上に密接し、ロシアに屬するキヤクタの市邑と、僅に一木柵を以てこれを區別す、ロシアとの陸路貿易場にして、茶の取引最も盛なり。

ニ、新疆省。

新疆省は、古の西域の地なり、支那全國の西部を占め、昔の

2. Sin-kiang

新疆回疆の全部、及び甘肅の一部を包括す、天山の山脈域内を横斷して、地勢自ら二部に分る、北は天山北路又ズンガリアと云ひ、南は天山南路、又東トルケスタン、或は支那トルケ

1. Urga
Ourga

2. Sin-kiang
Sin-kiang

スタンと云ふ、天山北路は、伊犁河の灌域にして、其地味大抵肥沃、天山南路は、塔里木河の灌域にして、大部は沙漠なり。
氣候は、純然たる大陸性なり、其物産は家畜を最とし、又崑崙山系より玉及び金銀を産す、天山北路の人民は、多く蒙古種に屬し、回教を信ず。

迪化府又烏魯木齊と云ふ、新疆省交通の要路に當り、新疆巡撫此所に駐在す、伊犁府は、一にクルジャと稱す、北京を距ること一千四百里、嘗て露人に占領せられたることありしも、其後清國これを回復し、伊犁將軍今此所に駐在す。

ホ、青 海

青海地方は、支那帝國全土の中央を占め、地勢險峻、崑崙山系域内に連亘し、黄河、楊子江兩河の分水嶺をなす、域内の東

- 1. Tarim
Tarim.
- 2. Urumtsi
Ouroumsti

- 3. Kuldsha
Kouldja
- 4. Kuku-nor
Kou-kou-noor

北隅に青海と稱する、大湖あり、物産は犛牛にして、牧畜の業最も盛なり、人烟非常に少く、凡そ十五萬あり、其人種多く蒙古種に屬す。

へ、西 藏

西藏は、地球上地理最も不明なる部に屬す、其境域北は崑崙山系を以て、新疆省及び青海に境し、南は喜馬拉山系を以て、イギリス領印度及びチポール、ブータンに接す、世界第一の高原にして、高度平均一萬二千尺なり、國中湖水多く、特に北西部を甚しとす、インダス河及びサンポ一河は、南西隅に、瀾滄江怒江は、北東隅に發す。

- 1. Tibet
Tibet
- 2. Nepal
Népaul

- 3. Bhutan
Boutan
- 4. Sanpo
Sangpo

西藏は、寒暖共に凜烈なり、これ非常なる高度を有し、且つ大陸の内部に位するを以てなり、此地は、近來支那に屬した

るも、其内政は自治に任じ、唯外交及び軍政のみ、中央政府の指揮を受く。

國を東西二部に分ち、前藏、後藏と稱す、首府拉薩は、前藏にあり、喇嘛教の教主此府に住し、兼て西藏の政治を主宰す、宮殿及び寺院は、何れも壯麗を極む、北京を距ること千八百餘里なり。

附 香 港

2. Hong-kong

支那南部にありて、珠江の河口に位する一小島なり、もと香山と稱せし地なるが、阿片戦争の結果として、今を去ること五十餘年前、支那よりイギリスに割譲せり、對岸の支那本陸とは、七町を隔て、九龍と相對して、一大良港をなし、市街は島の北岸にあり、ヴィクトリア府これなり。

3. Victoria

3. Victoria
Victoria

2. Hong-kong
Hong-kong

1. Lhasa
Lhasa

近時廣大なる對岸の土地をイギリスに割譲したり

日本郵船會社
汽船の航路に當る

香港は、東洋貿易の中心にして、東西交通の要路に當り、又南洋に對しても、通商上緊要なる位置を占む、故に其貿易の盛大なること、東洋第一なり、本邦との貿易も亦盛大にして、我邦より銅摺、附木、石炭、水産物、米を輸出し、又香港より砂糖を輸入す、本邦領事館及日本郵船會社支店あり。

本港は、イギリスより派遣せる、支那艦隊の根據地なり、實にアメリカのヴァンクーヴァーと、アジアの香港とは、イギリス國の最も重要なる兵站線上の要港なりとす。

附 澳 門

Macao

澳門は、珠江右岸の三角洲に屬する一大島の一小部をなし、半島形をなして突出し、香港の西に當る、舊時よりポルチユガル人、此所に殖民し、遂に純然たるポルチユガル領とな

Macao
Macao

(東部アジア) 支那

(二百五十一)

れり、面積一方里に満たず、此地は本邦人の夙に通商を試みし所なり、而して良錨地に非ざるを以て、香港の開港以來、全く衰微せり。

第二節。朝鮮。

Korea

總論。

位置。東部アジアに位する、狹長なる一大半島國にして、我國の西方に當る。

境界。北は鴨綠江、長白山脈及び圖們江の一部を以て、滿州及びシベリアに接し、西は黃海に濱し、南は朝鮮海峽によりて、我九州に向ひ、南東は我對馬と海水を隔て、西水道をなす、而して東は日本海に臨む。

Korea
Corée

面積。約一萬三千餘方里にして、我本洲より少しく小なり、南北は二百五十里、東西凡そ六十里に出入す。

區劃。行政上、十三道に分つ、京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尙北道、慶尙南道、江原道、咸鏡北道、咸鏡南道、黃海道、平安北道、平安南道、これなり、今京畿道を境とし、北を北韓、南を南韓とす。

地勢。長白山脈國の北境を限り、これより南方に派出せる一大支脈は、大關嶺にして、朝鮮を縦貫し、其山軸、頗る東方に偏して南走し、地勢は、東方に峻峻にして、南西方に陵夷せるを以て、大河は多く西方にあり、東方に流るゝものは、僅に

1. Chang-pai-shan

圖們江あるのみ、これに反して南西方に流るゝものには、鴨綠江、大同江、漢江、錦江、洛東江等の諸大河あり、多くは舟楫を

2. Yalu

2. Yalu
Yalu

1. Tschang-pai-schan
Chang-pai-chan

通ず。

氣候。寒暑共に烈しく、南韓は稍、溫暖にして、冬季積雪二三寸を超ゆることなく、河水も海岸に近き所は、多く氷結せず、冬季は三寒四暖と稱する氣候の變換あり、冷熱相交代するを以て、人をして氣候に堪ふることを得しむ。

住民。人口凡そ五百萬、蒙古人種の一支なり、學問は唯經書を誦し、詩文を習ひ、試験に應じて官吏となるを目的とす、通常の人ハ諺文と稱する文字を用ふ、諺文は「アルファベツ」の仕組にして、母音子音を結合し、數多の音をなす、上流社會の通信及び舊時の公文は、凡て漢文のみを用ひたり。

風習。沐浴することなく、一日中朝寢午睡を貪り、喫煙を事とす、其家屋は、概ね狹隘陋小にして、庭園の設なし。



朝鮮之人の風俗

衣服は上衣と袴とより成り、通常藁履を穿ち、竹冠を戴く。兩班中人、常人、奴隸の四階級ありて、門閥を尊ぶ。

宗教。佛教は現今帝室の禁ずる所なるを以て、國風僧徒を賤む、普通の人民は、巫女を信ずること甚しく、一種の妖教をなす、上流社會の人は、孔孟の道德を口にするのみ、死者は厚くこれを葬る。

政治。純然たる君主專制にして、皇帝の下に内閣あり、内閣は内部、外部、度支部、軍部、法部、學部、農商工部の七衙門より成り、各衙門に大臣を置く、又各道に觀察使を置き、道を分ちて郡縣とし、守を置き、別に重要な處には、府を設けて府使を置く、此國は、古來より我國と交通せしものなり。

行政上の區劃。現今舊時の八道を更に細別し、十三道と

なせり、其道名及び治所左の如し。

道名	首府	道名	首府
一、京畿道。	水原。	二、忠清北道。	忠州。
三、忠清南道。	公州。	四、全羅北道。	全州。
五、全羅南道。	光州。	六、慶尙北道。	大邱。
七、慶尙南道。	晋州。	八、江原道。	原州。
九、咸鏡北道。	鏡城。	十、咸鏡南道。	咸興。
十一、黃海道。	海州。	十二、平安北道。	定州。
十三、平安南道。	平壤。		

兵備。實際兵と稱すべきは、負商、裸商と稱する義勇兵様のもの外に、外國人の訓練に係る、歩兵若干あるのみ。
 産業。朝鮮は、元來地味肥沃なり、殊に南部は穀物能く登

朝鮮の外國貿易は主として本邦とこれを

りて、此國の富源をなす、農産中主要なるものは、米、麥、大豆にして、麻、人參これに次ぐ。
 林産。全國至る所多くは禿山にして、樹木を見ず、唯北部は、稍、森林多く、殊に其支那と境を接する所は、良材多し。
 鑛産。金及び鐵に富む、鐵鑛は未だ盛んに採掘せず。
 動物は、虎、豹の野獸多く、家畜には牛、騾、馬、犬を飼養すると盛んなり。
 貿易。輸出入の年額凡そ二千萬圓にして、米、豆、生牛皮は重要なる輸出品なり、貿易港は、仁川、釜山、元山を最とし、咸鏡道、城津浦、慶尙道、馬山浦、全羅道、木浦及び群山浦、平安道、鎮南浦及び平壤の新開港場あり。
 交通。大河多きを以て水利少からず、鐵道は仁川より始

んど漢城に達し、尙釜山元山等へも計畫中なり、電線も國內には普及せざれども、海外に通信の便あり、内外航路は主として本邦人の手にあり、國內通信の手段として烽燧の設あり。

地方誌。

京畿道。

京畿道。京畿道は朝鮮の首府漢城の在る所、故に此名あり、漢江流域の一部をなし、舟運の便至て大に、河岸平地多く、海岸には島嶼羅列し、江華島月尾島最も著る。

漢城。朝鮮の首府にして、又京城と呼び、古名を漢陽と稱す、鐵道及び漢江によりて、仁川との交通至便なり、市の周圍

Sō-ul
Seoul

には更に城壁を繞らし、廓内の人口約二十萬と稱す、街衢不規則にして狹隘、頗る不潔を極む、市内の北西部に宮城あり、本邦人の居留地は、南大門の近傍、泥岷と稱する所にありて、本邦公使館及び領事館あり。

仁川は、京城の西、九里の所に在り、船舶の碇泊する港は、仁川府の濟物浦なり、月尾島其前にあり、漢城の咽喉に當るを以て、貿易の盛大なること、朝鮮中の最たり、輸出品の主なるものは、米及び生牛皮なり、本邦領事館及日本郵船會社支店あり。

Chemulpho
Chémulpho

南 韓。

南韓は忠清北道忠清南道全羅北道全羅南道慶尙北道慶尙南道を含みて、三南と稱するものなり。

忠清南北道。京畿道の南にあり、地勢概して峻嶮ならず、朝鮮中地味最も豊饒にして農産に富む、全部殆んど錦江の流域に在り、水運の利大にして、且つ風景の勝に富む、北道の首府を忠州とし、南道の首府を公州とす。

馬山浦(慶尙の馬山浦と異なり)の灣頭に牙山あり、其北方には數多の島嶼あり、豊島は其一なり、又牙山の東北にある成歡の小驛等は、世人の夙に知れる所なり。

全羅南北道。忠清道の南にあり、地味肥沃、穀産豊かなれども、人情最も浮薄なり、全州は、全羅北道の首府にして、又李太祖墳墓の地なるを以て知らる、北部の群山浦及び西南の木浦は、平安道の鎮南浦と共に、近時新に開きしものにて、木浦には本邦領事館、群山には領事分館あり。

島の有名なるは、南西隅なる珍島及び南方なる巨文島なり、南方には、濟州島横はる、巨文島の錨地は、イギリス國嘗てこれを占領せしことあり。

慶尙南、北道。國の南東部を占め、大部は洛東江の貫流する灌域にして、水運の便、地味の沃、亦忠清全羅兩道に劣らず、島嶼の最も大なるを、巨濟島及び南海島とす、是等島嶼の四近、良港に乏しからず、就中釜山浦及び馬山浦最も名あり、本道は新羅の舊國にして、民俗尙禮儀を重んじ、學業を勵み、生業を力め、朝鮮中稍、取るに足るものなりと云ふ。

釜山浦は洛東江口の稍、東にあり、絶影島其前に横はりて、港口二つに分る、我が對馬の北岬を距ること僅かに北北西三十哩の所にあり、此地は東部アジアに於ける航路の中心

釜山に在留せる本邦人は六千餘人あり

(東部アジア) 朝鮮

(二百六十)

1. Port Hamilton
Port Hamilton

2. Quelpart
Quelpart

3. Fusan
Fousan

にして、夙に我邦と通商をなし、本邦領事館及日本郵船會社支店あり。馬山浦は、洛東江口の西にありて、又良好なる錨地なり、近時開港場となり、我領事分館あり、東方蔚山灣の岸に近く、蔚山あり、豊公征韓の役、加藤肥州の籠城を以て聞ゆ。

北 韓。

北韓は江原道咸鏡北道咸鏡南道黃海道平安北道平安南道を含む。

江原道。咸鏡道の南にありて、大部は漢江上流の灌域なり、全道地味瘠せたれども漁利あり、原州は本道の首府にして、山間の一小都會なり。

咸鏡南・北道。朝鮮の北部をなし、此國第一の大道なり、地勢北は圖們江の流れによりて、シベリア及び支那の境を

なし、此谷を隔て、長白山脈の北部に對す、南部の大灣をナロートン灣と云ひ、其中に永興灣あり。

永興灣は、咸鏡道の南部にありて、元山津は、其灣内にあり、本邦及びウラジオストクに對する貿易港として、緊要なる位置を占む、主なる輸出品を砂金とす、本邦領事館あり。

咸興は、咸鏡南道の首府にして、鏡城は咸鏡北道の首府なり、城津は近時新に開港場となり、我領事分館あり。

平安南北道。平安道は、咸鏡道の西、黃海道の北にあり。南部は、大同江の灌域をなし、其中流に平壤の平地あり。

平壤は、もと王險と稱し、一に西京と云ふ、平安道の首府なり、豊太閔征韓の役、明の大軍と激戦せし遺跡にして、又日清の役、我第一軍京城より北進し、此地に據れる、清軍二萬餘を

1 Broughton
Broughton
2 Wön-san
Wen-san

3. Phjöng-jang
Phüeng-yang

屠り、牡丹台玄武門の名は、長く人口に膾炙す、此地は又新に外國との貿易場となれり、本邦領事分館あり、大同江の口には鎮南浦あり、又條約港にして、本邦領事館あり。

定州は、平安北道の首府にして、義州に至るの要路に當れり、義州は、鴨綠江の東岸に位し、京城を距ること百里、清國に對する陸路貿易最も盛なり、日清の役、我山縣大將此に在て、第一軍を督し以て滿州に入れり。

黃海道。黃海道は京畿道の北、平安道の南にあり、大同江の水は、黃泥を流すこと甚しく、本道の沿岸爲めに黃なり、これ道名の由りて起る所なり。

第三節。本邦の位置。

試に地圖を披て、本邦の四隣如何を見よ、北には我舊領地

Wi-dschu
Wi-dju

敵情を觀察し
たる統軍亭今
尙存せり

樺太と、カムチャツカ半島あり、西には朝鮮海峽を隔て、朝鮮半島あり、其間僅に一葦帶水を隔つるのみ、而してカムチャツカ半島より、朝鮮半島に至る對岸一帶の地は、即ちロシア領シベリアの東岸にして、其ウラジオストク港は、軍事上商業上の中心なり、朝鮮半島以南は、即支那帝國にして、黃海及び東海を隔て、我九州臺灣諸島と相望む、イギリス領なる香港は、臺灣の西に當り、合衆國領なる呂宋は臺灣の南に在り、而して東方遙かに北アメリカの合衆國及びカナダに對し、南西は、遠くフランス領印度支那と相望めり。

思ふに朝鮮の國勢は、尙友邦の扶植を要し、支那の近情は、將に他國の干涉を見んとす、獨り我大日本帝國は、卓然として、能く東アジアの表に獨立し、所謂花

彩列島として、所謂日出の國として、風光の美、美術の精、人情の悖、地文、人工、天稟、皆共に宇内に卓絶せざるはなし、特に萬世一系の天皇の統治し玉ふ所にして、國運の長久なること、天壤と共に窮りなかるべし、我國民たるものは、深く意を我國の位置如何に注ぎ、奮發勵精、滿腔の熱心を以て奉公の事業に従はずして可ならんや。

訂正新撰地理。外國ノ部。終

1/5/36

明治三十二年三月十三日發行
 明治三十三年二月二十二日訂正再版發行
 明治三十四年二月二十三日訂正再版發行
 明治三十四年二月二十六日再訂八版發行

(新撰地理外國本文與附)

定價金六拾五錢



編述者 發行所 代表者 印刷者 印刷所

發兌書肆

山上萬次郎
 東京市神田區裏神保町九番地
 合資會社 富山房
 坂本嘉治馬
 東京市神田區表神保町二番也
 三島宇一郎
 東京市神田區表神保町二番地
 弘文堂
 (電話本局二三二六番)
 合資會社 富山房
 (電話本局一〇三六番)

理學士上山萬次郎先生著述目錄
地文學部

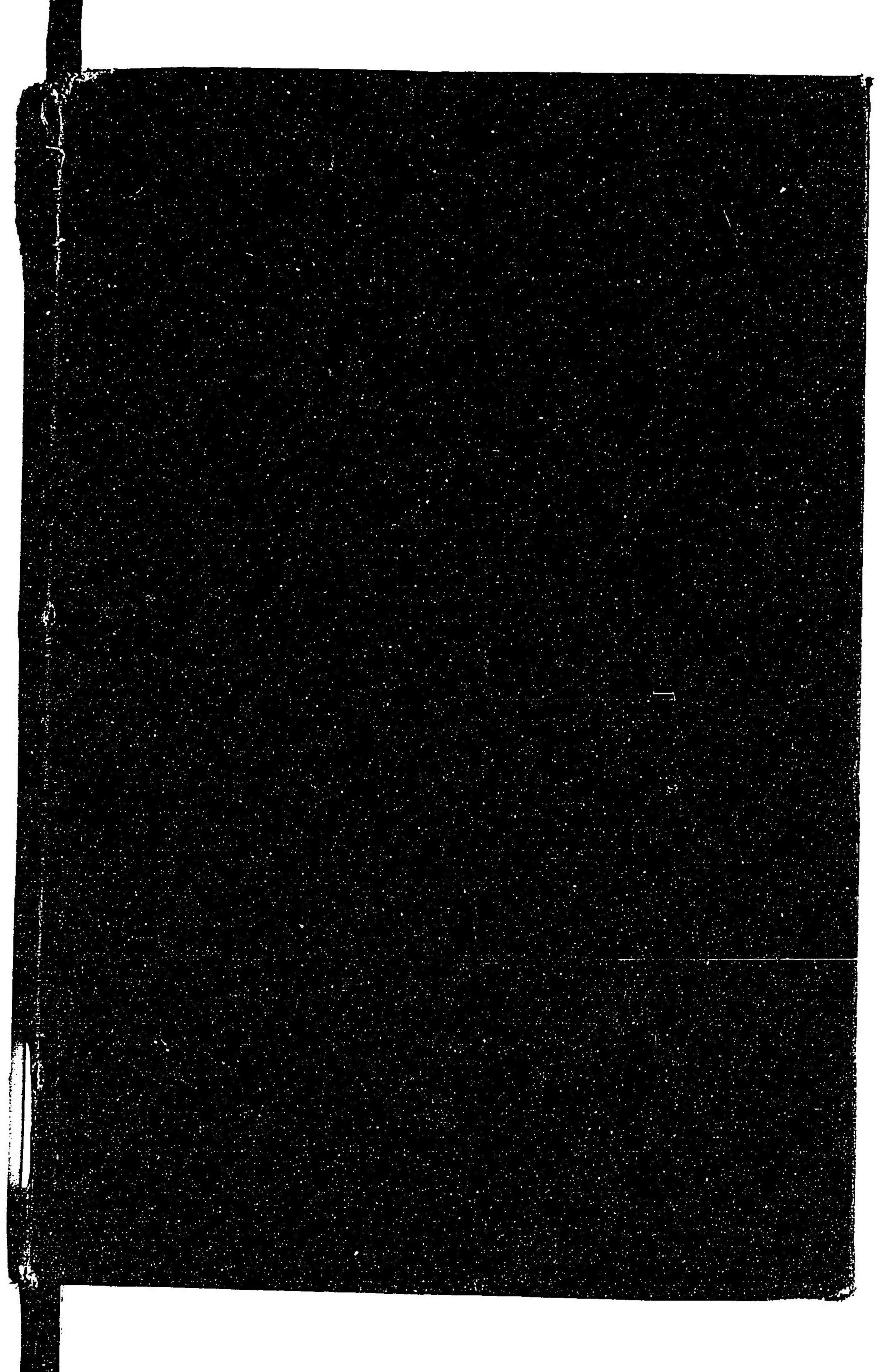
書名	編述ノ要項	冊數	頁數	行數	文字	插圖	定價
新撰大地文學	卷之一 地球星學及ビ氣 圈學	一	二〇〇			二六	〇、五〇
	卷之二 靜的海洋學	一	一五二			二四	〇、五〇
	卷之三 動的海洋學	一	一二八	一四三三	五號	一五	〇、五〇
	卷之四 宇宙開闢論	一	一一七			三二	〇、五〇
	卷之五 地圖製作法	一	一四〇			三四	〇、五〇
	卷之六 地球星學續篇	一	八〇			二五	〇、二五
新撰中地文學	新撰中地文學ノ基礎トシ、文部省ノ教科細目ヲ參照ス。教科用、參考用、講習用ニ適ス。新撰中地文學ノ要點ヲ摘シ、說明簡約ニシテ、數演ノ餘地アリ。材料ハ一層豐富ナリ。最モ教科用ニ適ス。	一	一三六	一一二五	四號	二二	一、二〇
近世地文學教科書	ハツクスレー氏ノ脈絡的敘述ニヨリ、隅田川ヲ以テ始リ、太陽ヲ以テ結ブ。首尾貫通、說明簡潔。最モ教科用ニ適ス。	一	一二八	一二二五	四號	九〇	〇、五〇
新撰普通地文學	材料極メテ豐富、高級ノ教科用及ビ參考用ニ適ス。	一	二二五	一三二五	四號	五三	〇、七〇
訂新撰地文學	新撰地文學ヲ簡約シテ、初級用ニ適セシメタルモノ。	一	二八四	一四三三	五號	九三	一、一〇
訂新撰小地文學	帝國教育會ニ於テ、中等學校教員志望者ノ爲メニ、講演セル筆記ノ大要ニシテ、材料ト圖書ト共ニ備多。	一	一一三	一三二五	四號	四二	〇、五〇
地文學講義		一	一一四	一五三七	五號	五三	〇、七五

東京書肆 合資社會 富山房發兌

Handwritten notes in Japanese:
 帝國教育會ニ於テ、中等學校教員志望者ノ爲メニ、講演セル筆記ノ大要ニシテ、材料ト圖書ト共ニ備多。
 新撰地文學ヲ簡約シテ、初級用ニ適セシメタルモノ。
 材料極メテ豐富、高級ノ教科用及ビ參考用ニ適ス。

78

51.



84
51A

(M)

